
図書館の自由

第 116 号 (2022 年 5 月)

日本図書館協会図書館の自由委員会

<もくじ>

1. 図書館資料への反論文書の貼り付けについての考え方 1
2. 図書館の自由・表現の自由をめぐる記事紹介 4
 - (1) 高校演劇「明日のハナコ」
 - (2) まんが図書館
 - (3) 米国の学校図書館での禁書
 - (4) ロシアのウクライナ侵攻：図書館団体などの声明
 - (5) ツタヤ図書館
 - (6) 個人情報の流出
3. 新聞・雑誌記事スクラップ 8
4. 単行書紹介 26
5. お知らせ 27

1. 図書館資料への反論文書の貼り付けについての考え方

○図書館資料への反論文書の貼り付けについての考え方

<http://www.jla.or.jp/tabid/960/Default.aspx>

2022 年 4 月 3 日 (2022 年 5 月 1 日追記)

公益社団法人日本図書館協会図書館の自由委員会

御嵩町立図書館での寄贈本(杉本裕明著『テロと産廃：御嵩町騒動の顛末とその波紋』花伝社, 2021)の取り扱いに関して、町の方針として、同書には事実と違うことが書かれているとして当事者による「反論文書を付け、閲覧できるようにする」予定であることが 2022 年 3 月 9 日以降、各メディアで報じられた。

「図書館の自由に関する宣言(1979 年改訂)」では、「多様な、対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する」、「正当な理由がないかぎり、ある種の資料を特別扱いしたり、資料の内容に手を加えたり、書架から撤去したり、廃棄したりはしない」としており、各メディアの伝える御嵩町の対応(予定)は、この考えに大きく反するものとなっている。

報道されているような反論文書を貼り付けて閲覧に供する行為は、「ラベリング※」に該当し、検閲行為となる。この点、当委員会は次のとおり考える。

1. 図書館資料に対し、著者・出版者(著作権者等)以外の者が要求した見解(反論・批判)等を直接貼り付けるなどの措置は、利用者に予断を与えることにつながり、資料提供の自由を放棄する行為となる。こうした行為は図書館自身による検閲行為の一形式とみなしうるものであり、図書館はその要求を拒否すべきである。

2. 特定資料への反論は、一つの独立した資料として展開されてこそ、固有の価値が生じるものであり、その資料の「付属品」のような形で行われるべきではない。図書館は、それぞれの資料を価値のある資料

として収集し、利用者がそれぞれの資料に対等にアクセスできるように提供するべきである。

3. 「ラベリング」は、通常、外部からの圧力によって図書館が図書館資料に施す状態の変更だが、本件の場合、圧力の主体がそのまま「ラベリング」の実施主体でもあるという、極めて異常な事態となっている。価値中立であるべき図書館の存続を揺るがす事案となりかねないものであり、憂慮している。

※ラベリング：アメリカ図書館協会知的自由委員会の「ラベリング声明」第2版（1981年）は、「ラベリングとは、ある種の図書館資料に記入したり、資料を指定したりすることをいう。すなわち、偏見あるラベルを貼付したり、偏見ある方式で資料を隔離することを意味する」と定義している。

（追記）

同書は 2022 年 4 月 8 日より通常に貸出開始されている。御嵩町図書館は、反論文書があれば同書に添付することなく個別の資料として扱う方針である。なお、3月25日、御嵩町教育委員会の定例会では、反論文書を待たずに同書を蔵書とすることを決定している。これまでの報道内容と経緯については、当委員会が図書館長に伺い確認した。（2022 年 5 月 1 日追記）

○「図書館資料への反論文書の貼り付けについての考え方」の公表について

『JLA メールマガジン』1086 号 2022.05.11 より転載

図書館の自由委員会は、2022 年 4 月 3 日（2022 年 5 月 1 日追記）「図書館資料への反論文書の貼り付けについての考え方」を公表しました。

杉本裕明著『テロと産廃～御嵩町騒動の顛末とその波紋』（花伝社、2021）について、岐阜県御嵩町長が「うそ本」と批判し、御嵩町立図書館が寄贈受入れを保留していたことを町議会 3 月定例会で追及され、町長の反論文書を本に貼り付けて閲覧に供する準備をしているとの報道がありました（岐阜新聞 2022/3/9, 2022/3/15 ほか）。

図書館の自由委員会は、利用者に予断を与える文書の貼付は、図書館の自由に関する宣言の趣旨に反することとして考え方を示したものです。

なお、4 月 8 日から同館は反論文を付けずに同書を貸出開始しています。

※図書館資料への反論文書の貼り付けについての考え方

<http://www.jla.or.jp/tabid/960/Default.aspx>

※関連記事

- ・「「反論満載のうそ本」町長の発言きっかけ、町図書館で閲覧不可に」『朝日新聞デジタル』2022.03.09. 21:17. <https://digital.asahi.com/articles/ASQ396VDJQ390IPE031.html>
- ・「御嵩町騒動の書籍、寄贈後に蔵書保留 町長「でたらめ」町議「検閲」」『中日新聞』2022.03.10. 05:00. <https://www.chunichi.co.jp/article/431979> リンク切れ
- ・「「でたらめ置けない」産廃問題の本、町図書館貸し出しせず 岐阜・御嵩町長が内容批判」『岐阜新聞 Web』2022.03.10. 11:48. <https://www.gifu-np.co.jp/articles/-/51702>
- ・「地元の産廃問題の書籍貸し出さず 岐阜・御嵩町立図書館」『共同通信』2022.03.10. 12:19. <https://nordot.app/874492388392042496>
- ・「岐阜県御嵩町立図書館、地元の産廃問題テーマの書籍貸し出さず」『毎日新聞』2022.03.10. 12:44. <https://mainichi.jp/articles/20220310/k00/00m/040/111000c>
- ・「地元産廃問題の本貸し出さず 内容が「でたらめ」と町長 岐阜御嵩町」『産経新聞』2022.03.10. 12:53. <https://www.sankei.com/article/20220310-HXTHT6SL4ZK5RNJ4GHZSXFLTWY/>
- ・「寄贈受けた産廃問題の蔵書が閲覧不可に…町長「うそ多すぎる」議員「検閲では」」『読売新聞』2022.03.11. 18:39. <https://www.yomiuri.co.jp/national/20220310-OYT1T50273/>
- ・「寄贈本、御嵩町が貸し出しへ 町長の「反論文」付き、教育長は対応反省」『中日新聞』2022.03.15. <https://www.chunichi.co.jp/article/434632> リンク切れ

- ・「「うそ本」との町長発言で閲覧不可 町図書館が反論文付きで閲覧可へ」『朝日新聞デジタル』2022.03.15. 15:30. <https://www.asahi.com/articles/ASQ3H4W46Q3HOIPE007.html>
- ・「産廃問題の寄贈本、御嵩町が貸し出しへ 町長の反論文付き 開始時期は未定」『岐阜新聞 Web』2022.03.15. 16:26. <https://www.gifu-np.co.jp/articles/-/53515>
- ・「御嵩産廃の書籍一転貸し出しへ 町立図書館、町長の反論文添付方針」『岐阜新聞 Web』2022.03.16. 05:00 <https://www.gifu-np.co.jp/articles/-/53786>
- ・「御嵩町図書館 産廃関連本、貸し出しへ 町長反論文添付 /岐阜」『毎日新聞』2022.03.16. <https://mainichi.jp/articles/20220316/ddl/k21/040/161000c>
- ・伊澤宏明(きんようアンテナ)「産廃問題検証本が町長意向で図書館閲覧不可に、議会で批判 岐阜・御嵩町、一転貸し出しへ」『週刊金曜日』1370号.2022.03.25. p.6.
- ・猪谷千佳「町長の「うそ本」発言で閲覧不可→反論文付の貸し出し 「図書館の憲法」に反する？」『弁護士ドットコムニュース』2022.03.31. 10:13. https://www.bengo4.com/c_1017/n_14312/
[町長が「うそ本」と発言、閲覧不可に／「図書館の自由に関する宣言」とは?／閲覧させるが、町長の反論文を「貼り付け」／町長の反論文は独自の資料として扱うべき]
- ・日本図書館協会図書館の自由委員会「図書館資料への反論文書の貼り付けについての考え方」『日本図書館協会』2022.04.03. <http://www.jla.or.jp/tabid/960/Default.aspx>
- ・「日本図書館協会(JLA)図書館の自由委員会、「図書館資料への反論文書の貼り付けについての考え方」を公開」『カレントアウェアネス-R』2022.04.05. <https://current.ndl.go.jp/node/45932>
- ・「町長反論の本、自由閲覧可の 岐阜・御嵩町図書館 【名古屋】」『朝日新聞』2022.04.09.名古屋朝刊 30 ページ
- ・「産廃処分場の書籍 御嵩町が貸し出し 町長の反論文付けず」『岐阜新聞 Web』2022.04.09. 05:00. <https://www.gifu-np.co.jp/articles/-/63145>
- ・「町長反論文待たず蔵書登録 寄贈本保留問題で御嵩町教委」『中日新聞』2022.04.09. 岐阜版
- ・「岐阜県御嵩町の図書館騒動」『中日新聞 Web』2022.04.09. 06:00. (4月13日 11時45分更新)
(4月9日付中日こどもウイークリー3面「NEWS虫めがね」から) <https://www.chunichi.co.jp/article/452241>
- ・「産廃関連本貸し出し 御嵩町図書館 町長反論文付けず/岐阜」『毎日新聞』2022.04.12. <https://mainichi.jp/articles/20220412/ddl/k21/040/155000c>

※経緯概要

- 2021年2月 杉本裕明著『テロと産廃：御嵩町騒動の顛末とその波紋』刊行、著者より御嵩町長渡辺氏と御嵩町図書館に寄贈
- 2021年3月 町長が町議会で「反論満載のうそ本」「あんなでたらめを置くわけにはいかん」と発言
- 2021年3月 図書館では蔵書に入れる手続きを保留して倉庫に保管、リクエストに応じない
- 2022年3月9日 御嵩町議会定例会一般質問で岡本隆子議員が「図書館の自由に関する宣言」を紹介して「町長による検閲に当たる」と質問
- 2022年3月9日 町長は町議会で「つくり話やうそが多すぎる」と反論、記者会見で「図書館に入れるなど直接指示した覚えはない」と説明
- 2022年3月14日 図書館が町長による反論文書を本に付けて貸出を始める方針を決定
- 2022年3月25日 御嵩町教育委員会定例会で蔵書登録し、反論文を付けずに貸出すことを決定
- 2022年4月8日 図書館が貸出開始

2. 図書館の自由・表現の自由をめぐる記事紹介

(1) 高校演劇「明日のハナコ」

○「福井県の高校演劇から表現の自由を失わせないための『明日のハナコ』上演実行委員会」の福井県高校文化連盟演劇部会への要求に賛同します

https://tomonken.org/statement/ashita_no_hanako/ より転載

2022 年 2 月 28 日

図書館問題研究会全国委員会

私たち図書館問題研究会は図書館員、住民、研究者を主な構成員とする研究団体です。

2021 年 9 月 18 日～9 月 20 日「福井県高校演劇祭」において、福井農林高校演劇部が「福井県高校演劇祭」(無観客)で上演した『明日のハナコ』が福井ケーブルテレビでの放映禁止、記録映像閲覧の禁止、脚本集の回収という異常な事態に見舞われました。憲法で保障される表現の自由を前提とした、知る自由の保障をもっとも重要な任務とする私たち図書館に関わるものにとって、このことは看過できません。

福井ケーブルテレビの要請を受けた福井県高校文化連盟演劇部会の決定は検閲であり、表現の自由への重大な介入でもあります。個人名、反原発、差別用語の件については、当時の敦賀市長や北野武氏の公の発言であること、反原発については憲法で保障された思想信条の自由であり、差別表現については当時の敦賀市長の発言をそのまま引用したもので、差別を助長するものではありません。これを削除することは差別発言が行われた事実を隠蔽することにもなります。

生徒たちの表現の自由が先ず尊重されるべきです。

私たちは、福井県高校文化連盟演劇部会の決定に抗議するとともに、『明日のハナコ』上演実行委員会の求める以下の項目が速やかに受け入れられることを要望します。

- ・ 10 月 8 日の顧問会議で行われた決定 3 項目を撤回すること。(ケーブルテレビでの放映禁止/記録映像閲覧の禁止/脚本集の回収)
- ・ 福井農林高校演劇部員たちへ誠実な謝罪をすること。
- ・ 今後演劇表現の内容をもとにあらゆる不利益な扱いをしないこと。
- ・ 表現の内容に理不尽な介入をしないこと。
- ・ 人権侵害を行ったことへの真摯な反省を表明すること。

※関連記事

- ・ 「『明日のハナコ』首都圏で上演へ ネットも配信「福井の中高生見て」」『中日新聞』2022.03.13. 05:00. <https://www.chunichi.co.jp/article/433758>
- ・ 「福井の高校演劇「明日のハナコ」各地に広がる上演の動き」『しんぶん赤旗』2022.03.15. <https://archive.ph/LwojL>
- ・ 『明日のハナコ』 <https://ashitanohanako-tokyo-kanagawa.jimdofree.com/>

(2) まんが図書館

石川県宝達志水町で、町内のにぎわい創出のため中古書籍販売「ブックオフ」の無償提供による 6 万冊を配架するまんが図書館を設置することとなった。貸出はせず入館料は未定。町議会での指摘もあり配架に際して「過度な暴力、性的、反社会的な表現がある漫画を陳列しないことを決めた」が明確な基準はなく「最小限の制限」として約 300 冊を撤去したという。なお、コロナ対策で施設改修が必要なために開館時期は未定。

※関連記事

- ・ 「宝達志水に北陸初漫画図書館 4 月開設 6 万冊収蔵 「レジャーない町」返上」『北国新聞 DISITAL』2022/1/21 05:00 <https://www.hokkoku.co.jp/articles/-/638808>
- ・ 「漫画 5 万冊並べる 宝達志水 漫画図書館 今春開館へ」『中日新聞』2022 年 2 月 17 日 05 時 00 分 <https://www.chunichi.co.jp/article/419951>

- ・「漫画ぎっしり陳列完了 石川県宝達志水町の図書館開館準備」『北國新聞 DIGITAL』2022 年 2 月 17 日
<https://www.hokkoku.co.jp/articles/-/662422>
 『北陸新幹線で行こう！北陸・信越観光ナビ』
<https://www.hokurikushinkansen-navi.jp/pc/news/article.php?id=NEWS0000029934> ・「「暴力」除外もゴルゴ OK 宝達志水のまんが図書館 「有害図書」明確基準なく」『北國新聞 DIGITAL』
 2022.03.11. <https://www.hokkoku.co.jp/articles/-/682501>
 [先行地はエヴァも制限／ルパン、鬼滅も○／住民と議論重ね慎重に 金沢学院大・中川講師]
- ・「「最小限の制限」300 冊撤去 宝達志水町まんが図書館」『北國新聞 DIGITAL』2022.03.24. 05:00.
<https://www.hokkoku.co.jp/articles/-/693626>
- ・「藤子[Ⓐ]さん追悼の書棚 宝達志水のまんが図書館 「トキワ荘」仲間の作品も」『北國新聞 DIGITAL』
 2022.04.14. <https://www.hokkoku.co.jp/articles/-/713688>
- ・「コロナ対策で宝達志水町のまんが図書館、開館延期」『北國新聞 DIGITAL』2022.04.30.05:00.
<https://www.hokkoku.co.jp/articles/-/727904>

(3) 米国の学校図書館での禁書

米国図書館協会 (ALA) は、2021 年度の図書館の概況とともにその年に最も批判を受けた図書を公開、2021 年度は黒人、LGBTQIA+ によって書かれたもの、あるいは彼らに関連するものが多く禁書や批判を受けたと報告している。学校図書館で管理職によってひそかに本が撤去されていることが報じられた。ニューヨーク公共図書館では、禁書の対象となっている本を利用登録者以外にも電子書籍で提供している。また、読者が禁書となった本を読む「禁書クラブ」を結成したことも報じられている。

※関連記事

- ・「米国図書館協会 (ALA)、人種差別や LGBTQ+ 等に関する書籍を図書館から排除する取組に関する有権者・保護者への調査結果を発表」『カレントアウェアネス-R』2022.03.25.
<https://current.ndl.go.jp/node/45870?msclkiid=7097b6d4bd3d11ecbdd424459341220d>
- ・「米国の学校図書館で静かに本が撤去されている」(記事紹介)『カレントアウェアネス-R』
 2022.04.05. <https://current.ndl.go.jp/node/45936>
- ・「本を禁止する動き、昨年急増 国内の政治的分断受け、意見対立」『DAYLYSUN NEW YORK』2022.04.07.
<https://www.dailysunny.com/2022/04/07/nynews220407-3/>
 [ニューヨークタイムス4日／米国内で政治的信条などを巡り分断が急速に進む中、子どもたちにとって不適切とされる本のリストが SNS によって、拡散される頻度が高まっている。]
- ・「米国図書館協会 (ALA)、米国図書館界の概況についての報告書 (2022 年版) および「2021 年に最も批判を受けた図書」を公表」『カレントアウェアネス-R』2022.04.12.
<https://current.ndl.go.jp/node/45973>
- ・「米・ニューヨーク公共図書館 (NYPL)、禁書の対象となっている本へのアクセスを電子書籍アプリ “SimplyE” で提供」『カレントアウェアネス-R』2022.04.14.
<https://current.ndl.go.jp/node/45987>
- ・「PEN America、米国の学校における禁書に関する調査レポートとリストを公開」『カレントアウェアネス-R』2022.04.18. <https://current.ndl.go.jp/node/46003>
- ・「NY 図書館、禁書 4 作品貸し出し 「ライ麦畑でつかまえて」も」『共同通信』2022.04.18.
<https://nordot.app/888674839289151488>
- ・「米国図書館協会 (ALA)、図書館におけるマンガの検閲に関する委員会を設置：情報提供を呼び掛け」『カレントアウェアネス-R』2022.04.19. <https://current.ndl.go.jp/node/46009>
- ・「米・ブルックリン公共図書館、キャンペーン “Books UnBanned” を開始：地域コミュニティで禁書に直面する全米の 13 歳-21 歳に e カードを無料で発行」『カレントアウェアネス-R』2022.04.22.
<https://current.ndl.go.jp/node/46038>

- ・「米国下院監視・政府改革委員会の小委員会 “Civil Rights and Civil Liberties”、禁書や検閲に関する公聴会を開催：学生や教師、米国図書館協会（ALA）等が意見」『カレントアウェアネス-R』2022. 04. 26. <https://current.ndl.go.jp/node/46048>
- ・「禁書に刺激された読者が、禁書となった本を読む「禁書クラブ」を結成（記事紹介）」『カレントアウェアネス-R』2022. 04. 26. <https://current.ndl.go.jp/node/46052>
- ・「米教育現場で広がる「禁書」、分断の火種に」『日本経済新聞』2022. 04. 28. 00:00
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOGN13EAHOT10C22A4000000/>
[図書館蔵書への異議申し立て、過去最高に／BLM 運動への反動]

(4) ロシアのウクライナ侵攻：図書館団体などの声明

○ウクライナに関する日本図書館協会声明

<http://www.jla.or.jp/demand/tabid/78/Default.aspx?itemid=6261> より転載

2022 年 3 月 14 日
公益社団法人日本図書館協会
理事長 植松 貞夫

日本図書館協会は、国際図書館連盟（IFLA）など国際的な図書館界と協調し、すべての暴力行為に反対し、ウクライナの人びとや図書館関係者との連帯を表明します。

人びとの生命を尊重し、表現の自由と知る自由を守り、もって平和と民主主義に資し、豊かな文化遺産を保護することは、私たちの社会にとって極めて重要な図書館の役割です。

日本図書館協会は、ウクライナの人びとが安全な日常を取り戻すことを願い、会員の図書館や図書館員に対して、ウクライナの人びとへの可能な支援を呼びかけます。

○プーチン大統領及びロシア政府のウクライナへの侵略行為に対して即刻中止を求める声明

<https://tomonken.org/statement/ukraine/> より転載

2022 年 4 月 5 日
図書館問題研究会

プーチン大統領及びロシア政府に対して抗議するとともに以下のことを私たちは要求します。

2月24日以降のウクライナへの侵略戦争により、多くの人命が失われています。都市への被害も大きく、図書館も破壊されています。その被害は計り知れません。

私たちは文化を蹂躪し、人々の知る権利や学びを奪い破壊するプーチン大統領及びロシア政府の侵略行為に強く抗議し、即時停戦とロシア軍の速やかなウクライナからの撤退を要求します。

また、私たちはウクライナで職務を全うし続ける図書館司書への連帯を示すと同時に、支援を進めていきます。

ロシア政府の生物化学兵器や核兵器の使用をほのめかすような恫喝、非人道的な軍事作戦に強い憤りを感じます。今この時も、ウクライナとロシアの人々の生命が脅かされ、奪われていることについては憂慮に堪えません。

そして、戦争によって事実が捻じ曲げられ、隠蔽され、捏造されることに、大きな危惧を抱いています。人々が表現の自由を享受し、信頼できる情報へアクセスする権利を守ることは、私たち図書館に携わる者の務めだからです。

私たちは、ロシア国内の厳しい言論統制と弾圧の中で反戦の声を上げる人々、正確な情報を提供するという責務を果たそうとしている図書館員への連帯を表明します。

最後にロシア系の人々やロシア文化への排斥に反対します。

私たちは、ウクライナの人々、戦争に反対するロシアの人々を含む世界中の人々と連帯結束し、一日も早くウクライナに平和な日常が戻るよう努力し続けます。

※関連記事

- ・「ロシアによるウクライナへの侵攻に対する、国立図書館・文書館・博物館および関係機関等の声明」『カレントアウェアネス-R』2022.03.01. <https://current.ndl.go.jp/node/45704>
- ・「「破壊、殺戮、分断等を生じさせる武力行使の速やかな停止を」 日本漫画家協会、ロシア軍事侵攻にメッセージ」『J-CAST ニュース』2022.03.01. 13:22.
<https://www.j-cast.com/2022/03/01432037.html?p=all>
[「戦争のない、平和な歳月こそが、今日の漫画の隆盛の礎であります」]
- ・「出版労連声明「ロシアのウクライナ侵攻に抗議する」」『出版労連』2022.03.01.
<https://syuppan.net/?p=3651>
- ・「出版者団体がロシアに抗議声明「即時撤退を要求」」『サンスポ』2022.03.07. 20:36.
<https://www.sanspo.com/article/20220307-C20VFE2JJFIWHGMI7V5VL335NU/>
[日本出版者協議会(水野久会長)は7日、ロシア軍のウクライナ侵攻に対して「抗議し、即時撤退を要求する」との声明を出した。]
- ・日本出版者協議会「声明 ロシアによるウクライナ侵攻に抗議し、即時撤退を要求する」『日本出版者協議会』2022.03.07. <https://www.shuppankyo.or.jp/post/seimei20220307>
- ・日本図書館協会「ウクライナに関する日本図書館協会声明」『日本図書館協会』2022.03.14.
<http://www.jla.or.jp/demand/tabid/78/Default.aspx?itemid=6261>
- ・図書館問題研究会「プーチン大統領及びロシア政府のウクライナへの侵略行為に対して即刻中止を求める声明」2022.04.05. <https://tomonken.org/statement/ukraine/>
- ・藤田順「ロシアによるウクライナ侵攻に関連する図書館・博物館の状況」『カレントアウェアネス-E』No.433 2022.04.21 <https://current.ndl.go.jp/e2483>

(5) ツタヤ図書館

武雄市の図書館がカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社(CCC)を指定管理者とし、ポイントカード(Tカード)を図書館利用カードとすることで「利用者の秘密を守る」ことに抵触するのではないかと疑義を呈しでから10年経過します。その後もCCCに図書館運営を委託する自治体がありますが、利用者の秘密を守ることを大切にしているか検証が必要です。

※関連記事

- ・日向咲嗣「沖縄に20年契約のツタヤ図書館が誕生…村民無視、村議会でも議論なしの異常事態」『Business Journal』2022.03.12. 06:00. https://biz-journal.jp/2022/03/post_283106.html
[不可解なことだらけの選定プロセス/ツタヤ図書館ありきでPFI方式の図書館運営か/村民の声も議会も無視…突然、ツタヤ図書館への委託が決定]
- ・「読谷村情報センター 地元企業とツタヤ運営 CCC を選定 図書館など PFI 方式で 20 年間運営」『沖縄タイムスプラス』2022.03.26. 10:25. <https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/932074>
- ・図書館友の会全国連絡会『「ツタヤ図書館」の“いま” - 公共図書館の基本ってなんだ? -』3版 図書館友の会全国連絡会 2022.05. A5サイズ 16p
入手先：<http://totomoren.net/> 問合せ先：info_*_totomoren.net (*を半角@に)

(6) 個人情報の流出

図書館は多くの個人情報を保持しているが、情報流出はさまざまな場面で起こりうる。日常業務の中で個人情報とりわけ読書の秘密にかかわる情報をきちんと管理しているかどうか、常に確認が必要である。

※関連記事

- ・「図書館でメール誤送信、講座受講者のメアド流出 - 新潟青陵大」『Security NEXT』2022.02.25.
<https://www.security-next.com/134364>
- ・「公開請求者名漏えい 「情報保護の意識希薄」 調布市審査会意見書/東京」『毎日新聞』2022.03.10.
<https://mainichi.jp/articles/20220310/ddl/k13/040/002000c>
- ・岩瀬たけし「PTA改革 学校とPTAの個人情報の取り扱いについて、訴えました」『選挙ドットコム/岩瀬たけしブログ』2022.03.09. <https://go2senkyo.com/seijika/157508/posts/371749>
- ・「住民データ連携に挑む 個人情報の扱いに課題」『日経 xTECH』2022.03.15.
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/mag/nc/18/030900282/030900003/>
- ・(経済気象台)「個人情報とプライバシー」『朝日新聞デジタル』2022.03.19. 05:00.
<https://www.asahi.com/articles/DA3S15238016.html>
- ・「262 人分の個人情報を漏洩 デジタル庁運用の「G ビズ ID」」『朝日新聞デジタル』2022.03.30.
22:21.1 <https://www.asahi.com/articles/ASQ3Z7DCTQ3ZULFA02N.html>
- ・「デジタル庁がメアド流出、「BCC」じゃなくて「TO」で一斉送信に法的責任は？」『弁護士ドットコム ニュース』2022.04.05. https://www.bengo4.com/c_23/n_14336/
- ・「図書館利用団体のメアド流出で謝罪 - 千葉市」『Security NEXT』2022.04.14.
<https://www.security-next.com/135761>
- ・「「マイナカードに知らない人の情報」と市に連絡…更新で職員が“直後に訪れた人”の個人情報記録住所氏名等」『東海テレビ』2022.03.31. 22:42.
https://www.tokai-tv.com/tokainews/article_20220331_17368

3. 新聞・雑誌記事スクラップ (雑誌, 新聞の別に日付順に配列, テーマによりまとめたものもある)

2022 年 2 月まで

- ・藪本知二, 安光裕子「公立図書館における有害図書類の収集と提供 : 青少年健全育成条例は資料の収集および提供にどのような影響を及ぼしているか」『図書館学』116 号, 2020.03, p.41-49.
- ・藪本知二, 安光裕子「公立図書館における「有害図書類」の除籍・廃棄について」『図書館学』117 号, 2020.09, p.30-37.
- ・安光裕子, 藪本知二「公立図書館における「有害図書類」の取り扱いについて : テキストマイニングの手法を用いた自由記述の分析」『図書館学』118 号, 2021.03, p.7-16.
- ・安光裕子, 藪本知二「公立図書館は「有害図書類」をどのような考えにより取り扱っているのか」『図書館学』119 号, 2021.09, p.9-16.
- ・「図書館ガイダンス「ズーム」で 質問相次ぎ 30 分延長」『法政大学新聞 電子版』2022.01.28.
<https://www.hoseipress.com/2201281>
- ・北澤尚登「侮辱罪の法定刑の引き上げについて考える ~ ネット上の誹謗中傷は防げるか ~」『骨董通り法律事務所』2022.02.28. <https://www.kottolaw.com/column/220228.html>

2022 年 3 月

- ・鈴木章生(こらむ図書館の自由)「図書館の自由は図書館の魂」『図書館雑誌』vol.116, no.3, 2022.03, p.119. <http://www.jla.or.jp/committees/jiyu//tabid/640/Default.aspx#202203>
- ・「国際公文書館会議(ICA)、ロシアの人権団体 International Memorial のアーカイブズ等の閉鎖に反対する声明を発表 : 12 月 28 日にロシア最高裁判所が閉鎖を決定」『カレントアウェアネス-R』2022.03.10.
<https://current.ndl.go.jp/node/45749>
- ・「YouTube に議会の質疑、著作権法違反? 町と投稿議員の主張は」『朝日新聞デジタル』2022.03.19. 9:30 <https://www.asahi.com/articles/ASQ3L7H8CQ3LPXLB003.html>
- ・「表現の「自由」と「規制」そのバランス 山田太郎参議院議員が語る」『ニッポン放送 NEWS ONLINE』2022.03.29. <https://news.1242.com/article/352100>

- ・「教科書 政府見解に沿って修正 教科書 政府見解に沿って修正」『朝日新聞デジタル』2022.03.30. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15250185.html>
[韓国外交省「深い遺憾」／＜視点＞多様な見方、奪わないで]
- ・「「政府見解に基づかず」14件 高校教科書、検定で修正意見」『朝日新聞デジタル』2022.03.30. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15250248.html>
- ・（いちからわかる!）「文科省の教科書検定、何を点検しているの?」『朝日新聞デジタル』2022.03.30. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15250179.html>
- ・（社説）「教科書検定 国定化の流れを止めねば」『信濃毎日新聞デジタル』2022.03.31. 09:31. <https://www.shinmai.co.jp/news/article/CNTS2022033000897>
- ・「返ってきた本 8万 8000冊超 図書館が遅延料を廃止してみれば」『DAILYSUN NEW YORK』2022.03.31. <https://www.dailysunny.com/2022/03/31/nynews220331/>
[ニューヨーク市公共図書館]

COVID-19の影響

- ・高松平蔵「コロナ禍でも「デモ参加は自由」なドイツの発想／積極的に民主主義の議論が行われているワケ」『東洋経済オンライン』2022.03.03. <https://toyokeizai.net/articles/-/535394>
[「ウイルスは民主主義にとって厄介」／外出制限下でもデモには参加できた／個人の集まりでも「接種証明」／感染者数発表にもドイツの発想]
- ・「saveMLAK、「COVID-19の影響による図書館の動向調査(2022/03/08)」の結果を発表」『カレントアウェアネス-R』2022.03.11. <https://current.ndl.go.jp/node/45767>
- ・「図書館「一度は閉館」97% コロナ対応で全国調査」『日本経済新聞』2022.03.06. 16:55. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUE053H80V00C22A3000000/>
- ・「公立図書館「一度は閉館」97% コロナ対応を全国調査」『共同通信』2022.03.05. 16:17. <https://nordot.app/872737320145698816>

マイナンバーカードと図書館

- ・「「使ってみよう図書館アプリ」実証開始!」『北九州学術研究都市』2022.03.09. <https://www.ksrp.or.jp/news/archives/2022/03-006430.html>
- ・「マイナンバーカードで本が借りられる 新潟県立図書館」『TeNY テレビ新潟』2022.03.18. <https://www.teny.co.jp/news/news114q1vuv5n0ruxl0juo>
- ・「『県立図書館』と『新潟市立図書館』で新サービス開始!マイナンバーカードが図書館カードとして利用できるらしい。3月29日から。」『にいがた通信』2022.03.27. <https://gata21.jp/archives/87976133.html>

アンネの日記をめぐる本の回収

- ・「アンネの隠れ家の密告者、77年越しに特定か」『AFP BB News』2022.01.18. 8:07 発信地:ハーグ/オランダ <https://www.afpbb.com/articles/-/3385634>
- ・「「アンネの日記」隠れ家“密告者特定”調査本 批判受け回収へ」『NHK NEWS WEB』2022.03.24. 18:16 <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220324/k10013549631000.html>
- ・「「アンネ密告者」本を回収 オランダ、信頼性に疑義」『共同通信』2022.03.24. 09:18. <https://nordot.app/879519656971714560?c=39546741839462401>
『東京新聞 TOKYO Web』2022.03.24. 09:18. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/167455>
[1月出版の「アンネ・フランクへの裏切り—未解決事件調査」]

土地利用規制法

- ・（社説）「土地利用規制法 恣意的運用に歯止めを」『北海道新聞どうしん電子版』2022.03.01. 05:01. <https://www.hokkaido-np.co.jp/sp/amp/article/651060>

北海道警ヤジ排除

- ・「表現の自由の行方 北海道警ヤジ排除訴訟の判決を前に」『朝日新聞デジタル』2022.03.21-23.
第1回 ヤジ排除問題が問いかける意味とは 排除された人たちの思い
<https://www.asahi.com/articles/ASQ3N4WB5Q38IPE009.html>
第2回 「表現の自由の未来を考えて」SEALDs 元メンバー福田和香子さん
<https://digital.asahi.com/articles/ASQ3N7DPDQ3LIPE02N.html>
第3回 ヤジ排除と「表現の不自由展・その後」共通する問題 京大・毛利教授
<https://www.asahi.com/articles/ASQ3Q7VB5Q3QIPE013.html>
- ・「ヤジ排除、警備の限度は 「表現の自由侵害」 訴え 札幌地裁 25 日判決」『朝日新聞デジタル』2022.03.21. <https://www.asahi.com/articles/DA3S15239640.html>
- ・「警察官によるヤジ排除は適法か 問われる表現の自由 25 日判決」『朝日新聞デジタル』2022.03.24. <https://www.asahi.com/articles/ASQ3S5Q0JQ3NIPE011.html>
- ・「首相にヤジで排除 表現の自由侵害か、適正な権限内か 25 日判決」『毎日新聞』2022.03.24. <https://mainichi.jp/articles/20220324/k00/00m/040/209000c>
- ・「北海道警のヤジ排除「表現の自由侵害」 道に賠償命令 札幌地裁」『朝日新聞デジタル』2022.03.25. 18:05. <https://www.asahi.com/articles/ASQ3T3Q49Q3RIPE012.html>
- ・「首相演説やじ、北海道警の排除は違法 地裁が賠償命令」『日本経済新聞』2022.03.25. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQQUE253420V20C22A3000000/>
- ・「首相演説やじ排除、道に賠償命令 「表現の自由侵害」一札幌地裁」『JIJI.COM』2022.03.25. <https://www.jiji.com/jc/article?k=2022032500272&q=soc>
- ・「首相演説中の警官によるやじ排除は違法、北海道に 88 万円賠償命令 表現の自由侵害 札幌地裁」『日刊スポーツ』2022.03.25. 13:30. <https://www.nikkansports.com/general/news/202203250000475.html>
- ・今西憲之「安倍元首相へヤジで警官に排除された男性らが勝訴「表現の自由を侵害」で警察庁に衝撃走る」『AERAdot.』2022.03.28. 09:00. <https://dot.asahi.com/dot/2022032700011.html>
- ・(社説)「ヤジ排除で道警敗訴 表現の自由侵害に猛省を」『北海道新聞どうしん電子版』2022.03.26. 05:00. <https://www.hokkaido-np.co.jp/article/661348/>
[危険性の根拠乏しい／政権党肩入れの疑念／市民守る基本に戻れ]
- ・「北海道警ヤジ排除判決は「抜かりない」 なぜ憲法学者はそう見るか」『朝日新聞デジタル』2022.03.25. 20:40. <https://www.asahi.com/articles/ASQ3T6SB8Q3TIPE01Z.html>
[市民運動に詳しい専修大学の内藤光博教授に判決について聞いた。]
- ・「ヤジ排除訴訟、札幌地裁判決(要旨)」『朝日新聞デジタル』2022.03.26. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/DA3S15245926.html>
【原告らを排除した道警の行為は違法か】 【道警の行為が原告らの表現の自由を侵害したか】
【道警の行為が移動・行動の自由などを侵害したか】
- ・(社説)「裁かれた道警 許されぬ憲法の軽視」『朝日新聞デジタル』2022.03.29. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/DA3S15248851.html>
- ・(社説)「ヤジ排除は違法 警察は「言論」を奪うな」
『東京新聞 TOKYO Web』2022.03.30. 07:56. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/168657>
『中日新聞』2022.03.30. 05:00. <https://www.chunichi.co.jp/article/443632>
- ・社説「やじ排除「違法」判決／「表現の自由」 軽視許されぬ」『河北新報 ONLINE NEWS』2022.03.31. 10:00. <https://kahoku.news/articles/20220331khn000006.html>
- ・「道警ヤジ排除訴訟、控訴しないで 原告 2 人が知事に要請」『朝日新聞デジタル』2022.03.31. 22:30. <https://www.asahi.com/articles/ASQ3075B5Q30IPE01J.html>
- ・「「知事は見解示して」 道の控訴受け原告 道警ヤジ排除訴訟」『朝日新聞デジタル』2022.04.01. <https://www.asahi.com/articles/ASQ416JZ0Q41IPE010.html>
- ・「原告ら「道知事控訴取り下げよ」 北海道警やじ排除、声明」『共同通信』2022.04.01.

<https://nordot.app/882535573889826816>

- ・「「演説聴ける環境と表現の自由両立を」 道警ヤジ排除訴訟で鈴木知事」『北海道新聞どうしん電子版』2022.04.02. <https://www.hokkaido-np.co.jp/article/664536>
- ・「ヤジ排除「違法」判決 警察の言論制限許すな」『大分合同新聞 Gate』2022.04.07. 03:00. <https://www.oita-press.co.jp/1042000000/2042002000/2022/04/JD0061204884>
- ・「(声) ヤジ訴訟、民主主義守った判決」『朝日新聞デジタル』2022.04.08. <https://www.asahi.com/articles/DA3S15259949.html>
- ・(木村草太の憲法の新手 174)「首相演説やじ排除判決 自由制限には「根拠」必要 地裁が基本原則確認」『沖縄タイムスプラス』2022.04.17.10:00. <https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/944157>
- ・(記者解説)「ヤジ排除訴訟判決 政治的な表現、社会は尊重を 北海道報道センター・平岡春人」『朝日新聞デジタル』2022.04.18. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15268794.html>

反戦デモは警戒対象

- ・「反戦デモは「武力攻撃事態」の一手手前? 防衛省がテロやサイバー攻撃と同一視した行政文書作成保存期間経過前に廃棄」『東京新聞 TOKYO Web』2022.03.30. 20:43 <https://www.tokyo-np.co.jp/article/168785>
- ・「政府、不適切と明言せず 陸自の反戦デモ警戒資料」『東京新聞 TOKYO Web』2022.04.01. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/169224>
- ・「政府、陸自のデモ例示「不適切」 警戒対象資料巡り立場変更」『東京新聞 TOKYO Web』2022.04.06. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/170153>
- ・(社説)「表現の自由 市民の批判 敵視するな」『京都新聞』2022.04.06. 16:00. <https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/766158>
[陸上自衛隊が一昨年2月の記者向け勉強会の資料で、今後の活動で警戒すべき対象としてテロやサイバー攻撃と並べて「反戦デモ」を例示していた]
- ・(社説)「[反戦デモ敵視] 憲法の軽視は許されぬ」『沖縄タイムスプラス』2022.04.16.06:12. <https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/943670>
- ・「前陸幕長の講演資料でも「反戦デモ」「報道」をグレーゾーン扱い」『朝日新聞デジタル』2022.04.20. <https://www.asahi.com/articles/ASQ4N6H4ZQ4NUTFK00H.html>

ネットの誹謗中傷/侮辱罪

- ・「誹謗中傷加害者の5割超「正当な批判・論評と思った」弁護士ドットコムが調査」『PR TIMES』2022.03.09. <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000201.000044347.html>
- ・「SNSに「ブタ」と書いたら懲役刑…侮辱罪の厳罰化で「政治家の悪口も言えない」」『Smart FLASH』2022.03.10. <https://smart-flash.jp/sociopolitics/175334>
- ・「SNSで中傷 侮辱罪視野に捜査 池袋暴走の遺族「憤り感じる」」『FNN プライムオンライン』2022.03.16. <https://www.fnn.jp/articles/-/332206>
- ・「「侮辱罪」厳罰化案、国会提出 中傷と批判の線引き、過去の投稿の扱いは…専門家に聞く 池袋乗用車暴走事故の遺族・松永さんが SNS で被害」『タ刊フジ』2022.03.22. <https://www.zakzak.co.jp/article/20220322-JP7RONBQKZL5NAJRBHHPZHGYM/>
- ・「「侮辱罪の法定刑引き上げは「表現の自由を脅かす」 日弁連が反対する意見書発表」『弁護士ドットコムニュース』2022.03.23. https://www.bengo4.com/c_1009/n_14276/
- ・原彰宏「ネット中傷は「侮辱罪」厳罰化で止まるか? 批判と侮辱の線引きは警察次第、政治家への悪口も犯罪となる危険性」『MONEY VOICE』2022.03.24. <https://www.mag2.com/p/money/1170183>
- ・「中傷に「いいね」名誉侵害認めず 伊藤詩織さん敗訴、東京地裁」『共同通信』2022.03.25. <https://nordot.app/879956098774630400>

ハイト条例

- ・「被告「ハイトデモ断罪を」 市民の抗議巡る訴訟で意見陳述」『カナコロ』2022.03.09.

<https://www.kanaloco.jp/news/social/article-865940.html>

- ・「ハイト条例で氏名公表を検討 沖縄県、削除方針から一転」『琉球新報 DIGITAL』2022.03.24. 06:30.
<https://ryukyushimpo.jp/news/entry-1490168.html>
- ・「大阪府議会、ネット中傷防止条例が成立 4月施行」『日本経済新聞』2022.03.24. 16:10.
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF240I30U2A320C2000000/>
- ・「ネット中傷防止条例が成立、4月1日施行 大阪府議会」『産経新聞』2022/3/24 20:55
<https://www.sankei.com/article/20220324-2EYE6P74BJPVCQSESUFQ3V5X4/>
- ・「ネットのひぼう中傷対策の条例 東京 江戸川区で成立 都内初」『NHK NEWS WEB』2022.03.25. 17:05.
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220325/k10013551641000.html>

SNS 投稿で弾劾裁判

- ・「“SNS 不適切投稿”で弾劾裁判 岡口裁判官側が初公判で争う姿勢 岡口氏「不適當な表現も」と謝罪」『FNN プライムオンライン』2022.03.02. 14:04. <https://www.fnn.jp/articles/-/323409>
- ・「岡口判事、罷免争う姿勢 SNS 巡り弾劾裁判で初公判」『中日新聞』2022.03.03.
<https://www.chunichi.co.jp/article/427839>
- ・「賛否渦巻く異例の「つぶやき」弾劾裁判 「三権分立のバランス乱す」「厳しい判断やむを得ない」」『東京新聞』2022.03.03. 06:00. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/163300?rct=national>
[裁判官につぶやく自由ないのか／言葉のナイフでさされているようだ／謝罪しながら繰り返すのが「表現の自由」?]
- ・(社説)「判事の SNS 「罷免」に値するのか」『東京新聞 TOKYO Web』2022.03.07. 07:37.
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/164127>
- ・(社説)「裁判官罷免に潜む危うさ」『日本経済新聞』2022.03.19. 02:00.
<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ059244500Z10C22A3EA1000/>

電気通信事業法改正

- ・「個人特定しないネット閲覧情報に初の規制へ 事業法改正案閣議決定」『朝日新聞デジタル』2022.03.04. 11:00. <https://www.asahi.com/articles/ASQ343DNBQ31ULFA03J.html>
- ・「ネット利用者情報保護へ罰則導入」『共同通信』2022.03.04. 13:03.
<https://nordot.app/872302151263436800>
- ・「「二重規制」批判に透ける経済界のホンネ 電気通信事業法改正案」『朝日新聞デジタル』2022.03.04. 14:00. <https://www.asahi.com/articles/ASQ3445P8Q32ULFA020.html>
- ・「ネットの閲覧履歴、外部提供に初規制 同意義務見送り 改正案閣議決定」『朝日新聞デジタル』2022.03.05. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15223612.html>
- ・玄忠雄「リクナビ事件から3年、新しい「本人同意」は個人データ活用をどう変えるか」『日経クロステック』2022.03.31. <https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/02006/032900003/>

破産者情報サイト

- ・「破産者サイトに停止命令 個人情報保護委「差別の恐れ」」『日本経済新聞』2022.03.23. 18:30.
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUE237470T20C22A3000000/>
- ・「破産者データの違法公開サイトに3件目の停止命令 個人情報保護委」『朝日新聞デジタル』2022.03.23. 20:30. <https://www.asahi.com/articles/ASQ3R6J77Q3RULFA01M.html>
- ・「個人情報保護委、破産者まとめサイトに停止命令 無許可で数百万人分」『毎日新聞』2022.03.23.
<https://mainichi.jp/articles/20220323/k00/00m/040/407000c>
- ・「破産者情報サイトに停止命令 個人情報保護委」『JIJI.COM』2022.03.23. 22:37.
<https://www.jiji.com/jc/article?k=2022032301179&g=pol>
- ・「破産者情報サイトに停止命令 個人情報保護委」『ITmedia NEWS』2022.03.24. 12:02.
<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2203/24/news099.html>

- ・長倉 克枝「破産者情報サイトに停止命令、4 月施行の改正個人情報法「不適正利用禁止」でも残る課題」『日経クロステック』2022.03.29. <https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00001/06687/>

Suica のビッグデータ

- ・佐藤正樹「商圏分析や不動産投資等に活用…Suica のビッグデータを 5 月から販売 個人情報に徹底配慮」『レスポンス』2022.03.17.06:45. <https://response.jp/article/2022/03/17/355277.html>

防犯（監視）カメラ/顔認識技術

- ・「<防犯カメラ>（前編）「安全」のために設置、撮影…どこまで許容?」『中日新聞』2022.03.09. <https://www.chunichi.co.jp/article/431621>
- ・「<防犯カメラ>（後編）プライバシーとどう両立?」『中日新聞』2022.03.15. <https://www.chunichi.co.jp/article/434860>
- ・「顔認証の利活用～人権に配慮した NEC の取り組み～」NEC『WISDOM』2022.03.29. <https://wisdom.nec.com/ja/feature/biometrics/2022032501/index.html>

子ども基本法案

- ・「自民、子ども基本法骨子を提示、コミッショナーは見送り」『産経新聞』2022.03.04. 12:17 <https://www.sankei.com/article/20220304-53GMSQTSB0FPIH073MWLWWXLY/>
- ・「自民、子ども基本法案提示 第三者機関「コミッショナー」は棚上げ 保守派、反発強く」『朝日新聞デジタル』2022.03.05. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15223632.html>

警察の捜査/サイバー警察局

- ・「警察法改悪反対!サイバー警察局反対!ニュース」『レイバーネット』2022.03.03. <http://www.labornet.jp/news/2022/1646311538479staff01>
- ・「警察庁の権限拡大慎重に/衆院委で塩川議員 改定警察法案を批判」『しんぶん赤旗』2022.03.03. https://www.icp.or.jp/akahata/aik21/2022-03-03/2022030302_04_0.html
- ・「警察法改悪反対!サイバー警察局反対!ニュース」『レイバーネット』2022.03.09. <http://www.labornet.jp/news/2022/1646838512827staff01>
- ・「原告側の住民らが控訴 岐阜県警個人情報提供訴訟」『中日新聞』2022.03.08. 05:00. <https://www.chunichi.co.jp/article/430653>

実名報道/少年事件

- ・（私の紙面批評）「少年の実名報道、慎重判断を 佐賀大教授 井上亜紀」『佐賀新聞 Live』2022.03.09. 08:02. <https://www.saga-s.co.jp/articles/-/821914>
- ・山田健太（今週の一言）「改正少年法施行で少年報道はどう変わるか」『法学館憲法研究所』2022.03.14. <http://www.jicl.jp/hitokoto/backnumber/20220314.html>
[18・19 歳の中途半端な法的位置づけ/報道では法ではなく倫理上の判断必要/読者・視聴者に理解を得られる報道を]
- ・「特定少年の実名報道に賛成 89% 起訴された 18、19 歳対象」『共同通信』2022.03.20. <https://nordot.app/878035735336239104>

安否確認

- ・（社説）「東日本大震災 11 年 宮城/安否確認 共助の意識もつと」『河北新報 ONLINE NEWS』2022.03.09. 10:00. <https://kahoku.news/articles/20220309khn000002.html>
- ・「安否不明者氏名、青森県内 27 市町村公表前向き」『Web 東奥』2022.03.11. <https://www.toonippo.co.jp/articles/-/920413>
- ・「安否不明者氏名 新潟など 16 府県が公表/災害時 家族の同意なしで」『新潟日報デジタルプラス』2022.03.17. 15:50. <https://www.niigata-nippo.co.jp/articles/-/38975>

GAFSA/SNS

- ・「【豪州】プライバシーポリシー、完読に平均 16 分 最長は 1 時間」『WEB ニッポン消費者新聞』2022. 03. 08. <https://www.jc-press.com/?p=7987>
[同意しなければ使用できないという二者択一を消費者に迫らない形での規制が必要]
- ・中川雅博「アップルに続きグーグルも、個人追跡制限の波紋 アプリ広告のターゲティングや効果測定に打撃」『週刊東洋経済 PLUS』2022. 03. 09. <https://premium.toyokeizai.net/articles/-/29995>
- ・安西敬介「パーソナライゼーション 2.0」は、いかに実現すべきか？：属性ではなく、興味・関心を」『DIGIDAY』2022. 03. 08. <https://digiday.jp/brands/how-should-personalization-2-0-be-realized/>
- ・「「Google による過去最大の個人情報侵害」の調査を怠ったとして[アイルランドの]データ保護機関が訴えられる」『Gigazine』2022. 03. 17. 06:00 <https://gigazine.net/news/20220317-iccl-sues-dpc/>
- ・「「ただの広告ビジネスじゃない」グーグルがメールや地図アプリを全て無料で開放している怖い理由」『プレジデントオンライン』2022. 03. 18. <https://president.jp/articles/-/55625>

EU 個人情報移転ルール

- ・「IT ビジネス規範へ一歩 EU 法制定、米大手は反発も／日本の規制、実効性に疑問」『朝日新聞デジタル』2022. 03. 26. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15245900.html>
- ・「個人情報の移転ルール合意 従来枠組み無効で―米 EU 首脳」『JIIJ.COM』2022. 03. 26. 07:34. <https://www.jiji.com/jc/article?k=2022032600213&g=int>
- ・「データ移転に関する米国と EU の合意、Meta も歓迎」『CNET Japan』2022. 03. 29. 13:08. <https://japan.cnet.com/article/35185538/>
- ・「欧米によるデータ移転の新たな枠組み進展、グーグルら期待」『ZDNet Japan』2022. 03. 30. <https://japan.zdnet.com/article/35185608/>

戦争と表現の自由/SNS/フェイクニュース

- ・志田陽子（オピニオン）「軍事的危機と「表現の自由」の価値」『シノドス』2022. 03. 02. <https://synodos.jp/opinion/society/27771/>
[Yahoo!個人オナーサー論説「緊迫する国際情勢と「表現の自由」の価値―《予測精度を競う表現》と《意志を伝える表現》の違い》をもとに修正を加えたもの]
- ・「ウクライナ侵攻で世界各国の諜報機関が SNS に齧り付いている…「こたつ CIA」の驚くべき実情」『デイリー新潮』2022. 03. 03. <https://www.dailyshincho.jp/article/2022/03031120/?all=1>
- ・吉岡桂子（多事奏論）「ウクライナと反戦メッセージ 言葉は燃やせない」『朝日新聞デジタル』2022. 03. 05. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15223605.html>
- ・（社説）「ロシア 情報統制強化 事態の悪化を憂慮する」『沖縄タイムスプラス』2022. 03. 07. 08:07 <https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/921440>
- ・（社説）「ロシアの戦争 報道弾圧を中止せよ」『朝日新聞デジタル』2022. 03. 07. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/DA3S15225036.html>
- ・Stephen Shankland「ロシアによるウクライナ侵攻で高まる「スプリンターネット」の懸念」『CNET Japan』2022. 03. 09. 08:00. <https://japan.cnet.com/article/35184443/>
[国によって異なるインターネットルール／より深い層でのインターネット分断]
- ・（社説）「ロシアの言論統制 真実ゆがめる弾圧やめよ」『琉球新報 DIGITAL』2022. 03. 10. 05:00. <https://ryukyushimpo.jp/editorial/entry-1482738.html>
- ・（社説）「戦争とネット 情報「疑う」冷静さ常に」『東京新聞 TOKYO Web』2022. 03. 17. 07:46. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/166117>
- ・「情報過剰は新たな脅威… [虚実のはざま] 第 6 部 私の提言 西田亮介氏（東京工業大准教授）」『読売新聞オンライン』2022. 03. 16. 09:39. <https://www.yomiuri.co.jp/national/20220316-OYT1T50091/>
- ・「「刺激の競争」歯止めを… [虚実のはざま] 第 6 部 私の提言 山本龍彦氏（慶応大教授）」『読売新聞オンライン』2022. 03. 17. 08:38. <https://www.yomiuri.co.jp/national/20220317-OYT1T50132/>
- ・高橋暁子「ウクライナ侵攻で SNS にあふれる「フェイクニュース」―騙されないための対策も」『CNET Japan』2022. 03. 19. 08:00. <https://japan.cnet.com/article/35184906/>

[情報統制で世論操作するロシア／蔓延するフェイクニュース／災害時に広がりやすいフェイクニュース／世界に声を届け情報を得る手段としての SNS／フェイクニュースに騙されないために]

- ・「ウクライナ侵攻巡るフェイク情報、国が分析強化 国家関与なら警告表示」『ITmedia NEWS』2022.03.16. 08:00. <https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2203/16/news062.html>
- ・(焦点)「ロシアのデジタル版「鉄のカーテン」、抜け道も続々と」『朝日新聞デジタル』2022.03.28. 13:05. <https://www.asahi.com/international/reuters/CRWKC2LMOHF.html>
- ・中島恵「ともに情報統制されているロシアの SNS と中国の SNS、どこが違うのか？」『Yahoo!JAPAN ニュース』2022.03.21. 14:23. <https://news.yahoo.co.jp/byline/nakajimakei/20220321-00287643>

ロシア

- ・小久保重信「フェイスブックやツイッター、露で通信制限受ける／高まる米テック大手の地政学リスク」『JBpress』2022.03.01. <https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/69066>
- ・関口雄太「Wikipedia「ロシア政府から削除要請されたが引き下がらない」ウクライナ侵攻関連コンテンツの取り下げ要求されたと明かす／検閲とロシア政府の要求を批判。」『ねとらぼ』2022.03.04. 14:20. <https://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/2203/04/news122.html>
- ・「Instagram がロシア政府関連メディアのシェアに警告。ロシアとウクライナのユーザーのフォローリストを非表示に」『HUFFPOST』2022.03.09. 15:51. https://www.huffingtonpost.jp/entry/story_jp_6228442ee4b047f85a422f48
- ・「EU のロシア国営メディア規制、検索結果から削除も要求 グーグルに」『朝日新聞デジタル』2022.03.11. 16:00. <https://www.asahi.com/articles/ASQ3C54ZTQ3CUHBI01D.html>
- ・「暴力表現容認「ウクライナ国内のみ」米メタ社長が釈明」『JII.COM』2022.03.12. <https://www.jiji.com/jc/article?k=2022031200289&g=int>
- ・小久保重信「メタ、「プーチン大統領の死を求める表現」一転禁止 ロシアへの暴力表現、一部容認を撤回」『JBpress Digital Innovation Review』2022.03.17. <https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/69321>
- ・「ロシア、軍事の虚偽情報に最大 15 年の刑 議会在法採択」『日本経済新聞』2022.03.04. 22:00. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQGR04B5B0U2A300C2000000/>
- ・「ロシア、軍の「偽情報」報道に刑罰 BBC など西側主要メディアはロシアでの活動を中止」『BBC ニュース/JAPAN』2022.03.05. <https://www.bbc.com/japanese/60630733>
- ・「英 BBC がロシアで取材活動停止 情報統制懸念、CNN も」『日本経済新聞』2022.03.05. 02:56. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQGR04EZ40U2A300C2000000/>
- ・「ロシアによるインターネット検閲の試み 大幅な増加傾向に」『Forbes JAPAN』2022.03.16. 06:30. <https://forbesjapan.com/articles/detail/46384>
- ・「ロシアが突き進む「インターネット鎖国」プーチン氏の狙いは」『毎日新聞』2022.03.17. 15:00. <https://mainichi.jp/articles/20220316/k00/00m/020/303000c>

中国

- ・「中国国営 TV、パラ開会式の反戦スピーチ検閲か IPC が説明要求」『AFPBB News』2022.03.06. 10:52. <https://www.afpbb.com/articles/-/3393529>
- ・「反戦スピーチ検閲疑惑、中国側の説明いまだなし IPC 会長」『AFPBB News』2022.03.10. <https://www.afpbb.com/articles/-/3394309>
- ・「ロシアによるウクライナ侵攻の影響で、中国のソーシャルメディア規制が厳しさを増している」『WIRED』2022.03.07. <https://wired.jp/article/war-ukraine-chinese-social-media-censors-busy/>
- ・中島恵「中国人は SNS でどこまで自由に投稿できるのか、習近平の名前はご法度？」『DIAMOND online』2022.03.09. <https://diamond.jp/articles/-/298385>
- ・中島恵「日本人は知らない…中国人は「自国政府の情報統制」をどう思っているのか？ その意外な答え」『現代ビジネス』2022.03.10. <https://gendai.ismedia.jp/articles/-/93197>

- ・「会長の「平和」訴え、再び訳さず 閉会式で中国国営テレビ北京パラ〔パラリンピック〕」『JJI.COM』2022.03.14.00:29. <https://www.jiji.com/jc/article?k=2022031400016&g=int>
- ・「中国インターネット情報弁公室、未成年者保護で新規制案公表」『ロイター』2022.03.14. <https://jp.reuters.com/article/china-cyberspace-idJPKCN2LB0D3>

中東 (アフガニスタン、イラン)

- ・「タリバンが BBC 放送禁止 ミメディアも」『産経新聞』2022.03.28. 10:15. <https://www.sankei.com/article/20220328-CW3E7Z3QSNMNVONWCNX3GQ5DBQ/>
- ・「人権団体、「極めて厳しい」イランのインターネット法案を非難」『ARAB NEWS Japan』2022.03.18. https://www.arabnews.jp/article/middle-east/article_63370/

美術展

- ・「大阪の不自由展、妨害疑い」『共同通信』2022.03.02. 15:42. <https://nordot.app/871644246926442496?c=39546741839462401>
- ・「「表現の不自由展かんさい」の軌跡」『神奈川新聞カナコロ』2022.03.22. 17:25. <https://www.kanaloco.jp/news/culture/bunka/article-880938.html>
<https://archive.ph/WVQTC>
- ・「表現の不自由展、4月東京開催へ 街宣車抗議で昨年延期、対策強化」『共同通信』2022.03.25. 19:01. <https://nordot.app/879946954671898624>
- ・「「政治活動家」の出展見送り 熊本市現代美術館が経緯公表 芸術性とリスク議論に」『熊本日日新聞』2022.03.31. 22:52. <https://kumanichi.com/articles/609198> <https://archive.ph/Kk0v4>
[2021年3~4月に開催した九州の現代作家のグループ展「段々降りてゆく」について、「革命家」や「政治活動家」を名乗って表現活動をしている外山恒一氏(福岡市)の出展を見送った経緯をまとめた記録集を公表]

映画

- ・「助成金不交付、二審は適法 ピエール瀧さん出演映画」『産経新聞』2022.03.03. 16:36 <https://www.iza.ne.jp/article/20220303-7TB47UA235PIHPQOVEMNX7MEPI/>
- ・「映画制作会社、逆転敗訴 「宮本から君へ」助成金不交付―東京高裁」『JJI.COM』2022.03.03. 17:28 <https://www.jiji.com/jc/article?k=2022030300819&g=soc>
- ・「映画「宮本から君へ」への助成金不交付「適法」 制作会社が逆転敗訴」『朝日新聞デジタル』2022.03.03. 18:06 <https://digital.asahi.com/articles/ASQ335WZQQ33ULZU00V.html>
- ・「「なぜ彼だけ」たどる 元記者・家族らバッシング 関西・横浜で上映」『朝日新聞デジタル』2022.03.04. 16:30. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15223338.html>
- ・篠田博之「映画『標的』をめぐる大手メディアの対応とバッシングされた娘さんの衝撃の登場」『Yahoo!JAPAN ニュース』2022.03.09. 07:21. <https://news.yahoo.co.jp/byline/shinodahiroyuki/20220309-00285579>
- ・新聞うずみ火「ドキュメンタリー映画「標的」 慰安婦取材で攻撃を受けた植村記者の不屈描く」『アジアプレス・ネットワーク』2022.03.10. <https://www.asiapress.org/apn/2022/03/japan/hyoteki/>
- ・西嶋真司、植村隆「映画『標的』が示した現実とラスト10分圧巻シーンの舞台裏：なぜ大手メディアは取り上げないのか」『創』52巻4号, 2022.04, p.94-99.
- ・「Netflix配信の同性愛映画、中東で論争…イスラム教でタブー・出演俳優に中傷も」『読売新聞オンライン』2022.03.21. 12:39 <https://www.yomiuri.co.jp/world/20220321-OYT1T50028/>

放送

- ・(字幕の罪 問われる公共放送:上)「NHK、生かせなかった教訓 8年前の過剰演出で防止策、機能せず」『朝日新聞デジタル』2022.03.03. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15221264.html>

- ・(字幕の罪 問われる公共放送:下)「五輪反対デモへの中傷、拡散 「先入観が招いた甘いチェック」指摘も」『朝日新聞デジタル』2022.03.04. 05:00.
<https://digital.asahi.com/articles/DA3S15222458.html>
- ・「NHK 字幕問題 市民活動への敬意感じず ドキュメンタリーは失敗の連続、自由な議論必要」『毎日新聞』2022.03.09. <https://mainichi.jp/articles/20220309/dde/012/040/013000c>
- ・日本民間放送労働組合連合会「自民党・情報通信戦略調査会での議論に関する民放労連声明」『民放労連』2022.03.11. <https://www.minpororen.jp/?p=2207>
- ・「民放労連が自民党に抗議声明 「言論・表現の自由を脅かす」」『毎日新聞』2022.03.14.
<https://mainichi.jp/articles/20220314/k00/00m/040/113000c>
- ・田玉恵美(多事奏論)番組審議会 放送の自律へ、議論もっと可視化を」『朝日新聞デジタル』2022.03.16. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15234507.html>

水平社宣言 100 年

- ・(光あれ 水平社宣言 100 年)「語る、そこに人がいるから 被差別部落出身のライター・角岡伸彦さん」『朝日新聞デジタル』2022.02.26. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15216169.html>
- ・「人の世に熱あれ、人間に光あれ 水平社宣言 100 年」『朝日新聞デジタル』2022.02.27~03.06.
連載 9 回 <https://www.asahi.com/rensai/list.html?id=1444>
- ・「光あれ 水平社宣言 100 年」上-下『朝日新聞デジタル』2022.02.28~03.03
上 <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15217625.html>
中 <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15220050.html>
下 <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15221292.html>
- ・(社説)「「水平社」宣言 差別なくす決意新た」『朝日新聞デジタル』2022.03.02. 05:00.
<https://www.asahi.com/articles/DA3S15219976.html>
- ・(社説)「水平社宣言 100 年 反差別の志受け継いで」『東京新聞 TOKYO Web』2022.03.03. 07:39.
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/163363>
- ・「水平社宣言 100 年 ネットで差別 歯止め利かず 地名拡散、自治体は削除要請 「国は持効性ある対策を」」『神戸新聞』2022.03.04.
<https://www.kobe-np.co.jp/news/zenkoku/primenews/202203/0015107980.shtml>
- ・(論点)「水平社結成から 100 年」『毎日新聞』2022.03.23.
<https://mainichi.jp/articles/20220323/ddm/004/070/014000c>

2022 年 4 月

- ・村岡和彦(こらむ図書館の自由)「図書館管理者による「反論」付き提供:御嵩町の事例のゆくえ」『図書館雑誌』vol.116,no.4, 2022.04, p.179.
- ・「『図書館の自由』115 号(2022 年 3 月)を発行」『図書館雑誌』vol.116,no.4, 2022.04, p.180.
- ・「公共図書館(前編)閉館…時代に合った役割は?」『中日新聞』2022.04.04.
<https://www.chunichi.co.jp/article/447031>
- ・「公共図書館(後編)知識得る機会 守るには」『中日新聞』2022.04.10.
<https://www.chunichi.co.jp/article/450651>
- ・「「ソビエト映画特集」を延期 福岡市総合図書館 ウクライナ侵攻受け」『朝日新聞デジタル』2022.04.02. 13:00. <https://www.asahi.com/articles/ASQ416QYVQ41TIPE01Y.html>
- ・嶋原盛之「新作ゲーム機ガイドブック、なぜ異例の「発売中止」に? 関係者に取材してみた」『Yahoo!JAPAN ニュース』2022.04.18. 07:01.
<https://news.yahoo.co.jp/byline/shigiharamorihiro/20220418-00290829>
[「著作権の侵害」の根拠とは?/改めて意識したい著作権の存在]
- ・松岡宗嗣「「LGBTQ 報道ガイドライン」第 2 版が公開。「注意すべきフレーズ」が新設」『Yahoo!JAPAN ニュース』2022.04.18. <https://news.yahoo.co.jp/byline/matsuokasoshi/20220418-00292038>

[よくある表現の懸念、言葉の変化を解説／報道の増加と知識のギャップ／誰でも PDF で閲覧・ダウンロード可能／「LGBTQ 報道ガイドライン - 多様な性のあり方の視点から」第 2 版 (LGBT 法連合会 WEB サイト) <https://lgbtetc.jp/news/2467/>]

- ・ (社説) 「戦争とハイト ロシア人差別許されぬ」『東京新聞 TOKYO Web』2022.04.20. 07:41.
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/172781>
- ・ 「就活生の裏アカ調査いいの? 本音出やすい／入社後の「炎上」会費 企業、採用に利用 人違いの懸念拭えず SNS 匿名投稿」『神戸新聞』2022.04.20. 夕刊
- ・ 「県庁所在地なのに防犯カメラ 7 台だけ、[青森]市は不正アクセス懸念…専門家「プライバシー保護は可能」」『読売新聞オンライン』2022.04.24. 11:24.
<https://www.yomiuri.co.jp/national/20220422-0YT1T50238/>
- ・ 「図書館向けの電子書籍サブスクリプションサービスに陰謀論・性差別・歴史修正主義を扱う本が数多く登録されていたと判明して問題に」『Gigazine』2022.04.26. 07:00.
<https://gigazine.net/news/20220426-hoopla-service-for-public-libraries/>
- ・ 「「ずっと返すの忘れてた…」図書館の本、“借りパク”の法的問題、弁護士に聞く」『オトナンサー』2022.04.25. <https://otonanswer.jp/post/112378/>
- ・ 「図書館解体「知らない」町民動揺 福島・大熊 見直し求め有志が署名活動／町、明確に広報せず復興へ問われる発信力」『河北新報 ONLINE NEWS』2022.04.30. 06:00.
<https://kahoku.news/articles/20220429khn000015.html>
- ・ 「図書館の自由」(くろしお)『宮崎日日新聞 MIYANICHI ePRESS』2022.04.30.
<https://www.the-miyanichi.co.jp/kuroshio/62360.html>

表現の自由/報道の自由

- ・ 「新聞はあなたを守る」『東京新聞 TOKYO Web』2022.04.02. 06:34.
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/169302>
- ・ (社説) 「記者に銃口 報道の自由への威嚇だ」『東京新聞 TOKYO Web』2022.04.06. 07:41
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/170051>
[那覇市の米軍那覇港湾施設(那覇軍港)での警備訓練を施設外から取材していた沖縄県の地元紙・琉球新報の写真記者に、米兵が銃口を向けた。]
- ・ 「議事録削除の発言、SNS 投稿は NG? 賛否割れた議会の決議とは」『朝日新聞デジタル』2022.04.16. 17:00. <https://www.asahi.com/articles/ASQ4H63M5Q4CUTIL05M.html>
[地方議会に詳しい廣瀬和彦・明治大学公共政策大学院講師の話]
- ・ 「日経広告をフェミ左派が糾弾するも、表現の自由論者とネット右派が逆襲／「固定観念の撤廃にかこつけた『不快表現の排除』」の声も」『SAKISIRU』2022.04.16. 06:00. <https://sakisiru.jp/25818>
[日本経済新聞が 4 日付朝刊広告で掲載した漫画『月曜日のたわわ』の表現内容を巡ってネット上
が紛糾]
- ・ (現場へ!) 「憲法を手」『朝日新聞デジタル』2022.04.25-05.03.
 - 1 同性婚、誰もが持つ尊厳を <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15276965.html>
 - 2 知る権利、本物へと育てる <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15278274.html>
 - 3 死文化させぬために努力 <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15279314.html>
 - 4 夫婦別姓、多様化する中で <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15280384.html>
 - 5 学問の自由、忖度せず守る <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15283652.html>
- ・ (「みる・きく・はなす」はいま) 「沈黙のわけ」『朝日新聞デジタル』2022.04.29-05.03.
 - 1 「ロシアは自由」の裏、デモ弾圧 <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15280718.html>
 - 1 批判黙らす権力、日本でも 街頭ヤジ、警官数人に体つかまれ
<https://digital.asahi.com/articles/DA3S15280651.html>
 - 2 デモへ、成果主義からの冷笑 <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15281686.html>
 - 3 大学で高校で、空気に押され <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15282571.html>

4 レッテル、「言えない空気」醸す <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15282785.html>
5 「虐殺したのは」元大使が自説 <https://digital.asahi.com/articles/DA3S15284029.html>

個人情報保護

- ・(社説)「個人データの保護を強めよう」『日本経済新聞』2022.04.01. 19:00.
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQODK318CF0R30C22A3000000/>
- ・新保史生(今週の一言)「規制とイノベーションの促進は両立できるか」『法学館憲法研究所』
2022.04.11. <http://www.jicl.jp/hitokoto/backnumber/20220411.html>
[1 規制とイノベーションの促進/2 デジタルプラットフォーム(DPF)規制の系譜/3 電気通信事業法の改正に対する経済界からの反対意見表明/4 戦略的な規制整備の議論に向けて]
- ・(社説)「ネット閲覧履歴 利用者保護が最優先だ」『東京新聞 TOKYO Web』2022.04.25. 07:31.
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/173764>

個人情報提供/流出

- ・前田定孝「市区町村による自衛隊への住基情報提供の違法性について」『自治体問題研究所』
2022.04.03. <https://www.jichiken.jp/article/0279/>
月刊『住民と自治』2022年2月号より
[1 経緯と問題の所在/2 住民基本台帳法に違反する提供/3 個人情報保護条例に基づく個人情報提供の根拠と問題点/1. 個人情報の外部提供の仕組み/2. 自衛隊への個人情報提供の問題点
①法令等の定め ②公益上の必要/むすび 1. 情報の提供は違法である/2. その他の諸問題]
- ・「再委託先が顔認証の搭乗関連情報を不正持出 - 東京国際空港ターミナル」『Security NEXT』
2022.04.12. <https://www.security-next.com/135667>
- ・「拘留所での治療カルテ不開示、国に33万円賠償命令…裁判長「生命と健康の維持を侵害」」『読売新聞オンライン』2022.04.08. 22:55. <https://www.yomiuri.co.jp/national/20220408-0YT1T50228/>
- ・「拘留所カルテ、不開示違法 「法解釈誤り」と賠償命令」『日本経済新聞』2022.04.09. 10:50.
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUE07EK00X00C22A4000000/>
- ・「国家的データベース構築を提言へ 自民、スポーツ立国調査会」『北海道新聞どうしん電子版』
2022.04.19. <https://www.hokkaido-np.co.jp/sp/amp/article/671401>
- ・「データベース構築を提言へ 自民党スポーツ立国調査会」『産経新聞』2022.04.19. 16:35.
<https://www.sankei.com/article/20220419-LKTW20KYA5MB5G4ZD6SS4E75A4/>
- ・長倉克枝「不登校児支援へ埼玉・戸田市が教育DB構築、課題は不ぞろいのデータ」『日経 XTECH』
2022.04.26. <https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00001/06782/>
- ・「法人3割が個人情報流出、過去1年で トレンドマイクロ」『日本経済新聞』2022.04.29.
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC079GS0X00C22A4000000/>

サイバー警察局

- ・日本出版者協議会「【声明】警察庁に「サイバー警察局」などを新設する警察法改正に対する声明『出版協』2022.04.01. <https://www.shuppankyo.or.jp/post/seimei20220401>
- ・「「サイバー警察局」に懸念表明 出版社団体「日常的監視の恐れ」」『共同通信』2022.04.01. 15:17.
<https://nordot.app/882509682198347776>

忘れられる権利

- ・「逮捕歴ツイート削除認めず 最高裁が2審判断見直し」『産経新聞』2022.04.06. 19:29.
<https://www.sankei.com/article/20220406-6J6Y6ZENC5KT7NGF4XDFECJ5C4/>
- ・西田宗千佳「「Web上に記事が残らない」ことは何が問題なのか」『ITmedia NEWS』2022.04.28. 13:00.
<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2204/28/news136.html>
[「ネットで見つからないと、存在しない」問題/「インターネット・アーカイブ」も万能ではない/「忘れられる権利」との折り合いをどうつけるのか]

SNS/フェイクニュース/ネットの自由

- ・「総務省「企業任せでいいのか」 戦争左右する SNS、揺らぐ中立性」『毎日新聞』2022.04.04.
<https://mainichi.jp/articles/20220403/k00/00m/020/047000c>
- ・山田貞幸「深刻化する“偽情報”問題に事業者はどう取り組むか、「自由な言論」と「対策」を両立させる論点をまとめた報告書のポイント/witter やヤフーも参加する「ディスインフォメーション対策フォーラム」が発表」『INTERNET Watch』2022.04.11. 06:00.
<https://internet.watch.impress.co.jp/docs/news/1399202.html>
[悪意ある「偽情報」だけでなく、悪意なき「誤情報」も議論の対象に／「情報の誤り」を論ずるのでなく、「情報が拡散されて生じる被害」の防止や回復が目的／「国際ファクトチェックネットワークの 5 原則」を意識した活動を期待／リテラシー向上のため事業者による啓発活動に期待されるが、効果測定に課題も]
- ・(シリコンバレー 101)「機械の検閲官を恐れて人が表現を暗号化するシュールな時代」『マイナビニュース』2022.04.22. 11:00. <https://news.mynavi.jp/techplus/article/svalley-919/>
- ・Zachary Snowdon Smith「リンクトインからの「個人データ抽出」は合法、米裁判所」『Forbes JAPAN』2022.04.19. 13:00. <https://forbesjapan.com/articles/detail/47063>
- ・「米欧日「ネットの自由」で連携 中国・ロシアに対抗」『日本経済新聞』2022.04.28.
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0GN2831D0Y2A420C2000000/>
- ・「ネットの民主化へ、米日欧「未来宣言」 中露の言論統制けん制」『毎日新聞』2022.04.29.
<https://mainichi.jp/articles/20220429/ddm/008/030/144000c>
- ・「米国、60 カ国とデジタル独裁対応インターネット新秩序宣言…韓国は抜ける」『中央日報』2022.04.30. 09:53. <https://japanese.joins.com/JArticle/290540>

Facebook

- ・「米メタ、暴力的表現を一時容認 有事対応、SNS に限界 専門家「国家が課題解決を」」『毎日新聞』2022.04.08. <https://mainichi.jp/articles/20220408/ddm/008/020/101000c>
- ・「リスク無視したフェイスブック そして告発を後押しする事件が起きた」『朝日新聞デジタル』2022.04.16. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/ASQ4H3H23Q3TUPQJ00P.html>
[フランス・ホーゲンさんインタビュー／利益の 1~2%減らせば 75%の偽情報減らせる／友人が陰謀論者に プラットフォーム企業の責任痛感／巨大 IT 企業に責任取らせる「公共の筋肉」を]
- ・小久保重信「メタ、「プーチン大統領の死を求める表現」一転禁止 ロシアへの暴力表現、一部容認を撤回」『Yahoo!JAPAN ニュース』2022.04.16. 19:31.
<https://news.yahoo.co.jp/byline/kokuboshigenobu/20220416-00291723>
- ・「ネット広告、個人情報への壁 履歴追跡「同意せず」7割 メタ 21%減益」『日本経済新聞』2022.04.29.
<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ060451330Z20C22A4EA1000/>
- ・「ドイツ消費者団体、メタの提訴可能=欧州司法裁」『ロイター』2022.04.28.
<https://jp.reuters.com/article/meta-eu-court-idJPKCN2MKOYK>
- ・「プライバシー保護か犯罪抑止か? メッセージの暗号化を巡るメタの調査結果が波紋」『WIRED.jp』2022.04.23. <https://wired.jp/article/meta-end-to-end-encryption-bsr-report/>
[暗号化を巡る懸念／プライバシーを守るためにできること／プライバシーと安全性の両立を目指すメタ]

Twitter

- ・「マスク氏、ツイッター経営参画辞退 「言論の自由」巡り対立か」『毎日新聞』2022.04.12.
<https://mainichi.jp/articles/20220412/k00/00m/020/198000c>
- ・「マスク氏「検閲なき SNS」へ実力行使 Twitter 買収提案」『日本経済新聞』2022.04.15.
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0GN14D2E0U2A410C2000000/>

- ・ (時時刻刻) 「「表現の場」買収攻防戦 マスク氏、ツイッター社に提案 「自由」を大義名分に」『朝日新聞デジタル』2022.04.16. <https://www.asahi.com/articles/DA3S15267382.html>
- ・ 「マスク流「言論の自由」狙う ツイッター、買収防衛策検討」『毎日新聞』2022.04.16. <https://mainichi.jp/articles/20220416/ddm/003/020/059000c>
- ・ 「マスク氏、揺れ動く主張／買収提案「言論の自由」盾に 過去にはメディア拒絶も」『日本経済新聞』2022.04.21. 02:00. <https://www.nikkei.com/article/DGKKZ060178220Q2A420C2TB1000/>
- ・ 渡瀬 裕哉「マスク氏はツイッター買収提案！SNS 中傷対策と言論の自由」『幻冬舎 GOLD ONLINE』2022.04.22. <https://gentosha-go.com/articles/-/42311>
- ・ 「EU、ツイッター買収のマスク氏を警戒 法規制順守を要求」『日本経済新聞』2022.04.28. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0GR26EGT0W2A420C2000000/>
- ・ 「マスク氏、トランプ氏と距離 ツイッター復帰は不透明」『JIJI.COM』2022.04.29. <https://www.jiji.com/jc/article?k=2022042800756&g=int>
- ・ 「イーロン・マスク vs. EU デジタル市場法…「言論の自由」は本当に守られるのか」『現代ビジネス』2022.04.29. <https://gendai.ismedia.jp/articles/-/94893>
- ・ 「ツイッター買収で心配な「自由な言論」の行方」『中日新聞』2022.04.29. <https://www.chunichi.co.jp/article/461825>
- ・ 「ツイッター買収 言論の自由は責任を伴う」『産経新聞』2022.04.30. <https://www.sankei.com/article/20220430-YAWYZ5N7RVKT5J4VJTUPH4EMJE/>

韓国

- ・ 「米国務省「韓国政府、言論に対して嫌がらせや脅し」」『朝鮮日報』2022.04.14. http://www.chosunonline.com/site/data/html_dir/2022/04/14/2022041480021.html
http://www.chosunonline.com/site/data/html_dir/2022/04/14/2022041480022.html
[人権報告書が言論仲裁法に言及「懲罰的損害賠償法の改正案成立を目指している」
「大庄洞事件は韓国における腐敗事例」]

中国

- ・ 「中国が検閲強化、都市封鎖でゼロコロナへの不満強まる－抗議活動も」『Bloomberg』2022.04.01. 16:47. <https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2022-04-01/R9NCBTDWRGG301>
- ・ 「上海ロックダウン、市民の抗議動画次々と拡散 検閲追い付かず」『BBC ニュース』2022.04.16. <https://www.bbc.com/japanese/video-61125391>

ロシア

- ・ 「ロシア政府がウィキペディアに罰金、「誤情報」の削除要求」『Forbes JAPAN』2022.04.01. <https://forbesjapan.com/articles/detail/46726>
- ・ 「ウクライナ侵攻 露「ネット鎖国」強化 情報遮断で言論統制」『毎日新聞』2022.04.04. <https://mainichi.jp/articles/20220404/ddm/002/030/101000c>
- ・ 「ロシアは、SNS 時代の情報統制を中国から学んでいる」『GLOBE+』2022.04.06. <https://globe.asahi.com/article/14590780>
- ・ 「ロシアいわく「Wikipedia が虚偽の情報を掲載している」として 500 万円超の罰金を科すと警告」『Gigazine』2022.04.06. <https://gigazine.net/news/20220406-russia-threatens-wikipedia/>
- ・ 「ロシアのノーベル平和賞編集長、襲撃される 列車内で赤い塗料」『BBC ニュース』2022.04.08. <https://www.bbc.com/japanese/61034024>
- ・ 「ロシア国民を監視する巨大盗聴システム 北欧通信大手が協力」『ニューズウィーク』2022.04.08. <https://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2022/04/post-98471.php>

ナイジェリア

- ・ 「焦点：ナイジェリアで携帯と個人番号紐づけ義務化、7300 万台停止」『ロイター』2022.04.24. 08:04. <https://jp.reuters.com/article/nigeria-tech-phones-idJPKCN2ME0C9>

表現の不自由展

- ・「「表現の不自由展」開催 少女像など展示—東京・国立市」『JIJI.COM』2022.04.02. 13:05.
<https://www.jiji.com/jc/article?k=2022040200205&g=soc>
- ・「「表現の不自由展」東京で開幕 会場周辺では抗議活動 5 日まで」『毎日新聞』2022.04.02.
<https://mainichi.jp/articles/20220402/k00/00m/040/129000c>
- ・「「平和の少女像」など展示…「表現の不自由展」都内で開幕、会場周辺では反対する街宣活動も」『読売新聞オンライン』2022.04.02. 18:42. <https://www.yomiuri.co.jp/culture/20220402-OYT1T50172/>
- ・「右翼の妨害退け、7 年ぶりに東京で「平和の少女像」展示」『ハンギョレ新聞』2022.04.04. 06:13.
<http://japan.hani.co.kr/arti/international/43037.html>
- ・「「表現の不自由展」閉幕 4 日間で 1600 人来場」『産経新聞』2022.04.05. 22:13.
<https://www.sankei.com/article/20220405-X2RHYHAKD5KRPBCPEXALMDLVAI/>
- ・「東京・表現の不自由展が閉幕、「成功、私たちの財産」」『カナコロ』2022.04.06. 06:10.
<https://www.kanaloco.jp/news/social/article-897348.html>
- ・(民主主義のあした)「「表現の不自由展」守った市民と司法」『東京新聞 TOKYO Web』2022.04.25. 06:00. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/173695>

ネット中傷／侮辱罪厳罰化

- ・「「侮辱罪」厳罰化、慎重に 日本ペンクラブが声明」『山陰中央新報デジタル』2022.04.08. 04:00.
<https://www.sanin-chuo.co.jp/articles/-/190291>
- ・「日本ペンクラブ声明「侮辱罪の拙速な厳罰化が言論表現の自由を脅かすことを憂慮します」」『日本ペンクラブ』2022.04.07. <http://japanpen.or.jp/statement20220407/>
- ・成原慧(今週の一言)「誹謗中傷対策の動向と今後の課題—プロバイダ責任制限法改正を中心に」『法学館憲法研究所』2022.04.18. <http://www.jicl.jp/hitokoto/backnumber/20220418.html>
[インターネット上の誹謗中傷／プロバイダ責任制限法改正／複合的なアプローチプラットフォーム事業者による対応、侮辱罪の法定刑引上げ／インターネット上の誹謗中傷への対応に関する政策パッケージ(総務省 2020/9) https://www.soumu.go.jp/main_content/000704625.pdf]
- ・「立民がネット中傷対策法案 加害目的誹謗罪を創設」『日本経済新聞』2022.04.20.
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQQUA20DQU0Q2A420C2000000/>
- ・「侮辱罪厳罰化、見直し要求 立民「言論弾圧」と批判—刑法改正案」『JIJI.COM』2022.04.24. 12:43.
<https://www.jiji.com/jc/article?k=2022042300333&g=pol>
- ・「侮辱罪厳罰化で参考人質疑 表現の自由 損ねる危険」『しんぶん赤旗』2022.04.27.
https://www.jcp.or.jp/akahata/aik22/2022-04-27/2022042702_06_0.html
- ・「池袋暴走、遺族を侮辱した疑いで愛知の男を書類送検 特定にわずか 48 日」『中日新聞』2022.04.29. 05:05. <https://www.chunichi.co.jp/article/461765>
- ・「「侮辱罪」はやはり“権力批判封じ”に利用される！ 国会で「“総理は嘘つき”は侮辱罪にあたるか」という質問に政府が驚きの答弁」『LITERA』2022.04.30.03:53.
<https://lite-ra.com/2022/04/post-6187.html>
- ・「言論活動の萎縮招く 本村氏 侮辱罪厳罰化で追及 衆院法務委」『しんぶん赤旗』2022.05.01.
https://www.jcp.or.jp/akahata/aik22/2022-05-01/2022050102_04_0.html

改正少年法施行／実名報道

- ・「18、19 歳の実名報道可能に 改正少年法きょう施行／本紙、総合的に判断」『日本経済新聞』2022.04.01. 05:30. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQQUF289XLQY2A320C2000000/>
- ・「18、19 歳「特定少年」の実名報道を解禁 改正少年法施行／個別事件ごとに判断します」『毎日新聞』2022.04.01. 00:00. <https://mainichi.jp/articles/20220331/k00/00m/040/297000c>
- ・「「特定少年」の実名報道可能に 検察は一律の公表はせず」『中日新聞』2022.04.01. 11:21.
<https://www.chunichi.co.jp/article/445166?rct=national>

- ・ 荘司結有「18 歳・19 歳『特定少年』の実名報道、「立ち直りの足かせ」と専門家。少年犯罪の厳罰化は抑止になるのか」『ハフポスト日本版』2022.04.01. 13:27.
https://www.huffingtonpost.jp/entry/story_jp_62464390e4b0981744fecf67
 [刑務所や少年院での勤務経験を持つ、龍谷大矯正・保護総合センター長の浜井浩一教授（犯罪学）に、改正による課題や少年非行の現状、立ち直りを支える地域社会の在り方を聞いた。／実名報道一部解禁「少年ひとりひとりの人生にとって大きな足かせとなる」／十分な保護処分を受けられず「孤立」する可能性も／18、19 歳の少年少女を「真犯」の対象外に／少年犯罪「もし加害少年が自分の家族や友人だったら」]
- ・ 中村信介「少年法改正による 18 歳、19 歳の実名報道について」『マイバストプロ広島』2022.04.04.
<https://mbp-japan.com/hiroshima/ns-nakamura-law-office/column/5108307/>
- ・ 「少年の実名報道 行動に責任を持つ契機に」『産経新聞』2022.04.07. 05:00.
<https://www.sankei.com/article/20220407-JJFX34SG7VJ4XLJL6NM7I5S5VY/>
- ・ 「甲府の夫婦殺人放火、19 歳逆送 特定少年近く起訴」『中日新聞』2022.04.04. 17:40.
<https://www.chunichi.co.jp/article/447246>
- ・ 「殺人・放火事件、19 歳逆送 起訴なら実名報道対象 甲府」『朝日新聞デジタル』2022.04.05. 02:00.
<https://www.asahi.com/articles/ASQ450BFVQ44UTILO29.html>
- ・ 「特定少年実名公表 検察「重大事案で影響深刻」 弁護士「遺憾」」『毎日新聞』2022.04.08. 21:42.
<https://mainichi.jp/articles/20220408/k00/00m/040/371000c>
- ・ 「少年法改正で実名報道「第 1 号」の 19 歳 家裁が異例の表現で痛烈指弾」『デイリー新潮』2022.04.09. <https://www.dailyshincho.jp/article/2022/04091500/?all=1>
 [逆恨みで家族を惨殺／〈少年の内省が深まっているものとは到底いえない〉]
- ・ 「19 歳「特定少年」報道の多くが実名 少年法改正で解禁、更生妨げる不安拭えず」『東京新聞 TOKYO Web』2022.04.09. 06:00. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/170612>
 [「自業自得と世間は思うだろうが…」／大事件のたび割れてきた議論]
- ・ 「甲府事件、在京 5 紙など実名／特定少年初、東京新聞は匿名」『佐賀新聞 Live』2022 年 4 月 10 日 08:00.
<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/838035>
- ・ 「特定少年の実名、報道機関ごとに温度差 識者「個別に判断を」」『毎日新聞』2022.04.11. 20:32.
<https://mainichi.jp/articles/20220411/k00/00m/040/180000c>
- ・ 「殺人罪などで起訴の 19 歳、大半が実名報道 対応分かれたネット配信」『朝日新聞デジタル』2022.04.12. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/ASQ4C751ZQ4CUTILO39.html>
 [複数のテレビ局が顔写真も流す／「実名には高い公共性」「更生の足かせに」]
- ・ 「甲府殺害、実名報道は「遺憾」 特定少年の弁護人が声明」『東京新聞 TOKYO Web』2022.04.11. 17:30.
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/171046>
- ・ 篠田博之「甲府放火殺人事件 19 歳少年の実名報道めぐり議論と東京新聞の独自方針」『Yahoo! JAPAN ニュース』2022.04.11. 18:32. <https://news.yahoo.co.jp/byline/shinodahiroyuki/20220411-00291012>
 [4 月 8 日の地検発表を受けて多くのメディアが実名報道／東京新聞は「特定少年 匿名報道を続けます」と社告／東京新聞としんぶん赤旗の報道／『週刊新潮』のこの事件についての報道と議論／甲府事件の真相解明はとても大事なことだ]
- ・ 「「特定少年」実名報道、匿名は少数 ネットは各社に相違」『日本経済新聞』2022.04.12. 23:00.
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQQUE1299C0S2A410C2000000/>
- ・ 「甲府・夫婦殺害の「特定少年」、実名報道が多数 顔写真、ネット対応は」『神戸新聞 NEXT』2022.04.14. 19:57. <https://nordot.app/887296014637809664> <https://archive.ph/rNdon>
- ・ 「“遺族の思い”と“更生の芽”…法改正で問われる「特定少年」の責任 実名報道の可否は【北海道発】」『FNN プライムオンライン』2022.04.18. 10:00. <https://www.fnn.jp/articles/-/343642>
- ・ 「FNN 世論調査「特定少年」実名報道 「犯罪抑止につながる」賛成 86%」『FNN プライムオンライン』2022.04.18. 14:45. <https://www.fnn.jp/articles/-/348426>

- ・「18 歳の逆送拡大と実名報道 真実知る機会「進歩」」『岐阜新聞 Web』2022.04.16. 12:03.
<https://www.gifu-np.co.jp/articles/-/62046>
- ・(15 歳のニュース)「特定少年」、初の実名解禁 報道各社、「重大性」「更生」で温度差も『毎日新聞』2022.04.16. <https://mainichi.jp/maisho15/articles/20220416/dbg/048/040/001000c>
- ・「特定少年の弁護士、匿名報道要望 「家族が住めなくなる」」『共同通信』2022.04.25. 22:12.
<https://nordot.app/891164133120458752>
- ・「寝屋川 20 歳男性死亡事件で「特定少年」2 人の実名公表、大阪地検 全国 2 例目」『産経新聞』2022.04.28. 16:09. <https://www.sankei.com/article/20220428-FMTPR27WUBKX3BSYA5RBMDJVWE/>

映画

- ・内田舞「アジア人男性は“敬意に値しない”、“性的に劣っている”…? ウィル・スミスの“ビンタ事件”が夫婦喧嘩をヒートアップさせた表象のはなし」『文春オンライン』2022.04.13.
<https://bunshun.jp/articles/-/53398>
- ・内田舞「『ティファニーで朝食を』はアジア人蔑視があるから放送禁止にすべき? 過去の差別表現に“うまく”答えたディズニーの方法」『文春オンライン』2022.04.13.
<https://bunshun.jp/articles/-/53399>
- ・クリスタル・チャウ「「映画検閲法」に挑む新世代——90 年代の香港映画ファンにこそ見てほしい」『ニューズウィーク』2022.04.22. 17:33.
<https://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2022/04/90-25.php>
- ・「香港では上映禁止に…民主化運動の若者たちを新人監督が描く『少年たちの時代革命』特別上映決定」『cinemacafe.net』2022.04.28. 17:00.
<https://www.cinemacafe.net/article/2022/04/28/78561.html>

放送

- ・篠田博之「教育への政治介入を告発した『教育と愛国』は二重の意味ですごい映画だ」『Yahoo! JAPAN ニュース』2022.04.16. 20:22. <https://news.yahoo.co.jp/byline/shinodahiroyuki/20220416-00291732>
[テレビ現場からテレビを問い直す動きが/学術会議任命拒否問題がひとつのきっかけに/政治介入は公教育の普遍的価値を破壊する/橋下徹さんとのバトルは映画のテーマにも通底/慰安婦や戦争責任はテレビでタブーになった/取材拒否はリベラル側の方が多かった/犠牲を払って築かれた公教育の価値を伝えたい]
- ・「“他人の痛みを嘲笑する”演出の BPO 見解、背景に学術研究の進歩「脳内活動に理解が深まった」『マイナビニュース』2022.04.16. 05:00. <https://news.mynavi.jp/article/20220416-2323373/>
[「番組の多様性を失う」「いじめは家庭のしつけの問題」という声も/「暴力シーンと“いじめ行動”の関係性」断定できなかった 2007 年/すでに「痛みを伴わない笑い」意識の流れも]

憲法審査会

- ・「国民投票の CM 規制、どうする? 衆院憲法審査会での発言要旨 (2022.04.21.)」『東京新聞 TOKYO Web』2022.04.21.20:31. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/173111>
- ・「憲法改正の国民投票に伴うテレビ CM など 規制強化に反対 民放連」『NHK NEWS WEB』2022.04.21.13:00.
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220421/k10013592041000.html>
- ・玉木雄一郎「憲法審査会で「国家からの自由」と「国家による自由」について考えた」『たまき雄一郎ブログ』2022.04.28. <https://ameblo.jp/tamakiyuichiro/entry-12739907380.html/>

4. 単行書紹介

○川崎良孝著『社会を映し出す『図書館の権利宣言』』京都図書館情報学研究会, 日本図書館協会 (発売) 2021 年 6 月 ISBN: 978-4-8204-2103-0 本体価格: 5,000 円
<http://www.jla.or.jp/publications/tabid/87/pdid/p11-0000000570/Default.aspx>

もくじ紹介

はじめに／1 『図書館の権利宣言』／2 知的自由、『図書館の権利宣言』に関する文献の概観／3 本書の目的と構成

第 1 章 1939 年版『図書館の権利宣言』の採択：図書選択の原則の設定

はじめに／1 節 1939 年版『図書館の権利宣言』採択の流れ／2 節 1938 年版『倫理綱領』採択の流れ／3 節 『図書館の権利宣言』と『倫理綱領』／4 節 デモイン公立図書館『図書館の権利宣言』第 3 条（寄贈資料）／5 節 デモイン公立図書館『図書館の権利宣言』第 4 条（集会室）／おわりに

第 2 章 1939 年版『図書館の権利宣言』成立への背景

はじめに／1 節 CCC キャンプでの検閲、キーニー事件／2 節 図書館界の指導者の関心と考え／3 節 進歩的な図書館員および図書館思想の台頭／4 節 デモイン市とパブリック・フォーラム／おわりに

第 3 章 知的自由委員会の成立と 1944 年版『図書館の権利宣言』

はじめに／1 節 『怒りのぶどう』への検閲／2 節 知的自由委員会の成立／3 節 1944 年版『図書館の権利宣言』の採択と活動の沈滞／おわりに

第 4 章 1948 年版『図書館の権利宣言』：反検閲を盛り込む

はじめに／1 節 1948 年版『図書館の権利宣言』の採択に向けて／2 節 1948 年版『図書館の権利宣言』の採択／3 節 ヘインズと 1948 年版『図書館の権利宣言』／4 節 『図書館の権利宣言』脚注の追加：1951 年／おわりに

第 5 章 1961 年版『図書館の権利宣言』：利用を盛り込む

はじめに／1 節 人種隔離とアメリカ図書館協会／2 節 1950 年代後半の図書館状況と黒人／3 節 1960 年のアメリカ図書館協会／4 節 図書館関係雑誌編集長の仕掛け／5 節 1961 年版『図書館の権利宣言』の採択／おわりに

第 6 章 1967 年版『図書館の権利宣言』：未成年者への適用

はじめに／1 節 1967 年版『図書館の権利宣言』の採択に向けて／2 節 1967 年版『図書館の権利宣言』と年齢の追加／3 節 児童サービス部会理事会 1972 年版「児童向け資料の再評価に関する声明」／4 節 児童サービス部会理事会 1973 年版「児童蔵書向け図書館資料の再評価に関する声明」／5 節 1973 年版「児童蔵書向け図書館資料の再検討に関する声明」の廃棄（1976 年）／おわりに

付録

1 図書館の権利宣言（デモイン公立図書館）：1938 年 11 月 21 日／2 図書館の権利宣言：1939 年 6 月 19 日／3 図書館の権利宣言：1944 年 10 月 14 日／4 図書館の権利宣言：1948 年 6 月 18 日／5 図書館の権利宣言：1951 年 2 月 3 日／6 図書館の権利宣言：1961 年 2 月 2 日／7 図書館の権利宣言：1967 年 6 月 27 日／8 図書館の権利宣言（ヘインズ草案）：1948 年／9 図書館の権利宣言（知的自由委員会草案）：1967 年 1 月

○アメリカ図書館協会知的自由部編纂『図書館の原則：図書館における知的自由マニュアル（第 10 版）』川崎良孝，福井佑介，川崎佳代子訳 改訂 5 版 日本図書館協会 2022 年 1 月

ISBN：978-4-8204-2112-2 本体価格：3,500 円

<http://www.jla.or.jp/publications/tabid/87/pdid/p11-000000584/Default.aspx>

もくじ紹介

第 1 部 知的自由と図書館

1 章 知的自由とは／2 章 アメリカ図書館協会の知的自由に関する中核文書／3 章 知的自由に関する方針の作成／4 章 情報を受け取る権利

第 2 部 知的自由の問題と最善の実践

1 章 図書館の資源やサービスへのアクセス／2 章 検閲、挑戦された資源、インターネット・フィルタリング／3 章 子どもと若者／4 章 蔵書の構成と管理／5 章 著作権／6 章 集会室、展示空間、プログラム、教育／7 章 プライバシーと秘密性／8 章 法執行機関からの訪問と要請／9 章 職場での言論／10 章 特定の視点から：諸問題を横断する案内

第 3 部 唱道と助力

1 章 知的自由を伝える／2 章 助力や関与の連絡先

付録 1 用語集／2 参考文献／3 知的自由に関する中核文書及び関連する声明

○福井佑介著『図書館の社会的責任と中立性：戦後社会の中の図書館界と「図書館の自由に関する宣言」』松籟社 2022 年 2 月 ISBN：978-4-87984-420-0 本体定価：3,400 円

<http://www.shoraisha.com/main/book/9784879844200.html>

もくじ紹介

序章／第 1 章 社会的責任と中立性をめぐる見解の多様性—破壊活動防止法と「図書館の中立性論議」—／第 2 章 中立観を具現化した「図書館の自由に関する宣言」—「原子兵器禁止に関する各国図書館界への訴え」との比較から—／第 3 章 教育二法案と図書館界—「図書館の自由に関する宣言」をめぐる 2 つの期待—／第 4 章 文部省の「図書選定制」をめぐるポリティクス—1950 年代の図書館の社会的責任論の到達点と限界—／第 5 章 図書館界における「政治の季節」の終焉—1960 年の日米安全保障条約の改定と図書館の中立論の不在—／第 6 章 ピノキオ・コーナーの評価をめぐる理念と現実の確執—1970 年代の「差別図書」問題と図書館の社会的責任—終章

5. おしらせ (講座や集会のお知らせは、終了したのも記録のために掲載しています)

○4・1 統合された個人情報保護法の問題点を考える市民の集い

と き 4 月 1 日 (金) 18 時 30 分～20 時 30 分

ところ 文京区民センター 2A 会議室

お 話 森田 明さん (弁護士) 原田富弘さん (共通番号いらないネット)

参加費 500 円

共 催 秘密保法廃止へ！実行委員会 共謀罪 NO！実行委員会 <https://www.kyobozaino.com/>
<http://www.labornet.jp/EventItem/1647440730688staff01>

○図書館九条の会第 17 回学習会「マスコミへの圧力と表現の自由」

日時：2022 年 4 月 16 日 (土) 13:30～15:30

講師：永田浩三さん (武蔵大学教授)

会場：日本図書館協会 研修室 (2F)

※入場無料 オンライン参加可

<https://toshokan9jo.net/2022/03/17/20220416meeting/>

近刊

○日本図書館協会図書館の自由委員会編『「図書館の自由に関する宣言 1979 年改訂」解説』第 3 版 日本図書館協会 2022 年 5 月 ISBN：978-4-8204-2202-0 本体定価：1,500 円 A5 サイズ 230p

もくじ紹介

図書館の自由に関する宣言 1979 年改訂

1. 宣言の採択・改訂とその後の展開
2. 宣言の解説／
3. 資料編

○『図書館の自由』115 号 (2022 年 3 月) を発行

『JLA メールマガジン』1079 号 2022.03.09 より転載

日本図書館協会図書館の自由委員会は、ニューズレター『図書館の自由』115 号 (2022 年 3 月) を発行した。主な内容は以下のとおり。

- ・第 107 回全国図書館大会山梨大会図書館の自由分科会報告 大会ハイライト／研究協議の記録
- ・図書館の自由・表現の自由をめぐる記事紹介
 - (1) 岩波ジュニア新書 2 冊絶版
 - (2) 「なかよし」連載 2 作品終了、著者と契約破棄 コミックスは回収へ
 - (3) 実名報道・少年法との関係
 - (4) 図書館での迷惑行為と入館禁止
 - (5) 文化庁映画賞「夜明け前のうた」上映延期
 - (6) 高校演劇「明日のハナコ」非公開
 - (7) 防犯カメラ・顔認識・鉄道事業者の顔認識
 - (8) 採用面接の質問・就活生 SNS「裏アカ」・趣味は読書
- ・新聞・雑誌記事スクラップ
- ・お知らせ

なお、本誌 PDF ファイルは購読者（無料）にメールで送信し、また委員会サイトに掲載している。

※次のサイトからダウンロードし、図書館等で印刷して提供していただけます。

<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/638/Default.aspx>

※購読案内はこちらをご覧ください。

<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/679/Default.aspx>

- 『『図書館年鑑』にみる「図書館の自由に関する宣言」2004 年から 2017 年のあゆみ』
日本図書館協会図書館の自由委員会編 2019.10 ¥3,000+税 ISBN978-4-8204-1908-2
- 『図書館の自由に関する宣言 1979 年改訂のころ：塩見昇講演会記録集』
塩見昇著 日本図書館協会図書館の自由委員会編 (JLA Booklet No. 3) 日本図書館協会 2018.10
ISBN978-4-8204-1810-8 ¥1,000+税
- 塩見昇著『図書館の自由委員会の成立と「図書館の自由に関する宣言」改訂』
日本図書館協会 2017.12 ISBN978-4-8204-1712-5 ¥2,200+税
- 『図書館の自由を求めて：「図書館の自由に関する宣言」採択 50 周年記念座談会と 60 周年記念講演会の記録』日本図書館協会 2016.4 ISBN978-4-8204-1602-9 ¥1,200+税
- 『図書館の自由に関する全国公立図書館調査 2011 年付・図書館の自由に関する事例 2005～2011 年』日本図書館協会図書館の自由委員会編 日本図書館協会 2013.7
ISBN978-4-8204-1303-5 ¥2,000+税

※協会へ注文されると個人会員の方は会員割引（定価の 2 割引き）で購入できます。

- 図書館の自由展示パネル「なんでも読める・自由に読める」
日本図書館協会図書館の自由委員会は、「図書館の自由」にかかわるさまざまな資料を視覚的に提示し、図書館員や図書館利用者の皆さんに見ていただき、「図書館の自由宣言」などについて知っていただくことを目的とした展示パネルを作成しています。無料で貸出していますのでどうぞご利用ください。展示会場で配布できるリーフレット原稿も用意してあります。

◆パネルの概要

B2 横 (51×72cm) 13 枚

1 展示パネルの趣旨・略年表／2 図書館の自由宣言ポスターと JLA の普及活動／3～11 図書館の自由に関する事例／12 各地の条例や規程に見る図書館の自由／13 最近の事例

◆問合・申込先日本図書館協会図書館の自由委員会事務局

電話 03-3523-0817 FAX 03-3523-0841 jiyu@jla.or.jp

<http://www.jla.or.jp/portals/0/data/iinkai/jiyu/panel2010.html>

- 「図書館の自由に関する宣言」ポスター、はがき
 - ・ポスター (B2 サイズ (515mm×728mm)) 1 枚 700 円+送料・手数料 300 円
 - ・はがき 10 枚 100 円+送料実費

・はがき 5 枚, 宣言小冊子 1 冊 (A7 サイズ 8p 中折三つ目とじ) 100 円 + 送料実費

※問合・申込先: 日本図書館協会図書館の自由委員会事務局

<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/682/default.aspx>

※上記サイトに掲載しているポスター・はがきの図柄は, 自由利用

(「プリントアウト・コピー・無料配布」OK) していただけます。

利用の際は必ず次のサイトをご確認下さい。 <http://www.bunka.go.jp/jiyuriyo/>

○図書館の自由委員会からのお知らせは, 協会ツイッターアカウントからも提供しています。

#自由委員会をつけていますのでこちらもご活用ください。

日本図書館協会/JLA@JLA_information (https://twitter.com/JLA_information)

○『図書館の自由』ニュースレター 電子版購読案内

電子版(無料)購読希望者は, 受信を希望するメールアドレスから, 電子メールにてご連絡ください。

宛先:nljiyu@jla.at.yahoo.co.jp (送信時に at を@(半角)に変えてください)

件名:「新規配信希望」としてください。

本文:個人の場合は「氏名・所属等(任意)」を, 団体の場合は「団体名・担当係(者)名」をご記入ください。

※受信希望アドレスから送信できない場合は, 本文中に受信希望アドレスをご記入ください。

※2 営業日以内に受領のご連絡をします, 返信のない場合はお手数ですが再度ご一報ください。

※読み上げソフト利用の都合などで word 形式をご希望の方はお知らせください。

本誌は, 図書館等で印刷して提供していただけます。

図書館の自由第 116 号(2022 年 5 月)

編集・発行: 公益社団法人日本図書館協会図書館の自由委員会年 4 回発行予定。

<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/182/default.aspx>

問合・連絡先: 公益社団法人日本図書館協会図書館の自由委員会事務局

〒104-0033 東京都中央区新川 1-11-14

電話 (03) 3523-0814

Email:nljiyu@jla.at.yahoo.co.jp (Eメール:ジイエイワイユー・ジイエイ・イル・エイ・アットマーク ~)

これまでの目次 <http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/638/default.aspx>

電子版購読費: 無料
